

# JMP2.0 解説書

国土交通省 国土地理院

## 目次

1. JMP2.0 とは	1
1.1. 背景	1
1.2. これまでの経緯	1
1.3. JMP2.0 の策定	1
2. JMP2.0 の構成と記述上の留意点	3
2.1. JMP2.0 の構成	3
2.1.1. 要素と要素体	3
2.1.2. 入力時の制約条件	4
2.1.3. 入力時の記述回数	4
2.2. メタデータ記述上の留意点	5
2.2.1. カタカナの記述についての留意点	5
2.2.2. 英数字の記述についての留意点	5
2.2.3. 日付の記述様式についての留意点	5
3. JMP2.0 の各項目の解説	6
3.1. 凡例	6
3.1.1. 要素体と要素の構成	6
3.1.2. 具体的な要素体と要素のパターン	6
3.1.3. 各要素の解説	8
3.2. メタデータ情報	9
3.2.1. 要素体と要素の構成	9
3.2.2. 各要素の解説	10
3.3. 識別情報	14
3.3.1. 要素体と要素の構成	14
3.3.2. 各要素の解説	15
3.4. データ品質情報	21
3.4.1. 要素体と要素の構成	21
3.4.2. 各要素の解説	22
3.5. 参照系情報	27
3.5.1. 要素体と要素の構成	27
3.5.2. 各要素の解説	27
3.6. 配布情報	29
3.6.1. 要素体と要素の構成	29
3.6.2. 各要素の解説	29
3.7. 範囲情報	32
3.7.1. 要素体と要素の構成	32
3.7.2. 各要素の解説	33
3.8. 引用情報	40
3.8.1. 要素体と要素の構成	40
3.8.2. 各要素の解説	40
3.9. 責任者情報	42
3.9.1. 要素体と要素の構成	42
3.9.2. 各要素の解説	43
3.10. オンライン情報資源	47
3.10.1. 要素体と要素の構成	47

3.10.2. 各要素の解説.....	47
4. コード一覧.....	48
4.1. 文字コード [MD_CharacterSetCode <<CodeList>>].....	48
4.2. 適用範囲コード [MD_ScopeCode <<CodeList>>].....	49
4.3. 日付型コード [CI_DateTypeCode <<CodeList>>].....	49
4.4. 進捗コード MD_ProgressCode <<CodeList>>].....	49
4.5. キーワードタイプコード [MD_KeywordTypeCode <<CodeList>>].....	50
4.6. 空間表現型コード [MD_SpatialRepresentationTypeCode <<CodeList>> ].....	50
4.7. 主題コード [MD_TopicCategoryCode <<Enumeration>> ].....	50
4.8. 配布媒体コード [MD_MediumNameCode <<CodeList>> ].....	52
4.9. データ品質要素型コード [DQ_TypeOfQualityEvaluationCode <<CodeList>>].....	53
4.10. 役割コード [CI_RoleCode <<CodeList>>].....	54
4.11. データ要素一覧.....	54
5. 付録.....	55
5.1. 座標参照系の識別子の表記法.....	55
5.1.1. 座標による参照系識別子の記述ルール.....	55
5.1.2. 記述例.....	56
5.2. 実装例.....	57

## 1. JMP2.0 とは

---

### 1.1. 背景

---

地理情報は、多数の機関において様々な形態で整備・提供されており、これらの情報の中には、所有する機関の内部での利用に留まることなく、様々な目的のために広く活用されるべきものが多数存在します。インターネット技術を利用し、世の中に点在するこれら諸情報のメタデータを統合的に検索・提供するシステム、いわゆるクリアリングハウスの実現は、地理情報の利用促進、重複投資回避によるコスト軽減を可能とするものです。その構築にあたっては、各々の地理情報に関するメタデータの整備が必要であり、標準化されたメタデータを適用するとが望まれます。

### 1.2. これまでの経緯

---

国土地理院では、政府の地理情報クリアリングハウス (<http://zgate.gsi.go.jp>) を運用しており、そのシステムにおいて日本版メタデータプロファイル (JMP1.1a Japan Metadata Profile 1.1a) が利用されています。

JMP1.1a とは、日本国内におけるクリアリングハウスの普及促進を優先することを目的に、国際標準化機構の地理情報に関する専門委員会 (ISO/TC211) のメタデータの委員会原案 (1998 年登録) に基づいて暫定的に策定した国内標準です。

ISO/TC211 では、2003 年 5 月にメタデータ (ISO19115) が国際規格として正式に発行されました。これを機に、日本版プロファイルについても、国際規格に準拠したものに改訂する運びとなり、国土地理院及び民間企業 17 社が参加する共同研究「地理情報標準普及・利用技術に関する研究」において、国際規格に準拠した JMP2.0 を策定しました。

### 1.3. JMP2.0 の策定

---

ISO19115 では、コアメタデータと呼ばれる基本項目 (約 50 項目) が設定されており、この項目はどのようなコミュニティも遵守しています。ISO19115 に基づいてメタデータプロファイルを策定する場合には、このコアメタデータに項目を追加して拡張していく形をとります。また ISO 19115 では、予め拡張用としての項目が多く用意されており、コアメタデータと追加パッケージを含んだ、包括的メタデータ (約 400 項目) があります。

コアメタデータは、記述項目が限定され、例えば、キーワード情報、利用制限に関する情報、品質情報をはじめとした種々の情報が記述できません。メタデータの運用を考えると、これらコアメタデータだけでは必要とする事項をすべて記述することは難しいので、JMP2.0 (約 70 項目) では、ISO 19115 との整合性を保ちながら、包括的メタデータで用意されているパッケージから必要と思われる項目をコアメタデータに追加する形をとりました。

JMP2.0 は、地理情報やメタデータに関して専門的な知識を有していないユーザでも、簡単に理解・作成ができるメタデータを目指し、できるだけ項目数を限定したシンプルなプロファイルにしています。例えば、メタデータに実体として情報を記述するのではなく、その情報へのリンク等を残す形で、融通性と簡素化を図っています。

さらに JMP2.0 では、地理情報利用者が検索手段として利用するクリアリングハウスだけではなく、製品仕様書での活用のほか、様々なシステム間、アプリケーション間で地理情報を相互利用するためのインデックス情報としての活用も想定しています。

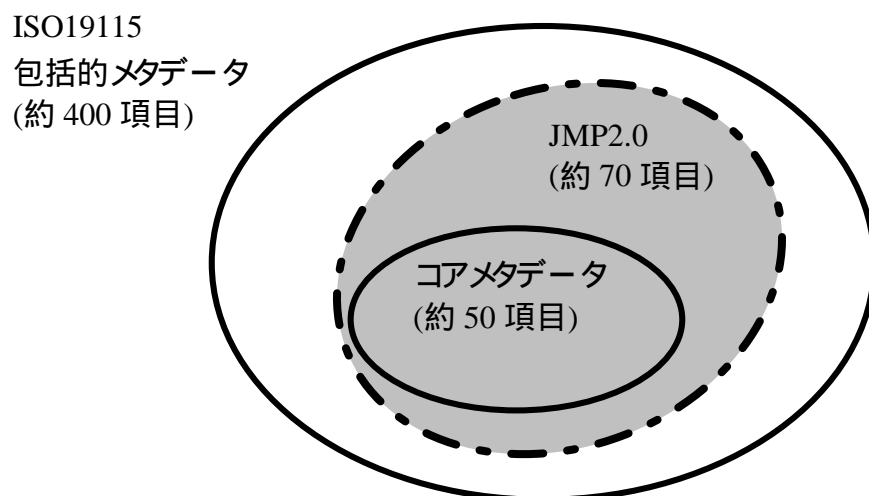


図 1-1 JMP2.0 とISO19115 の関係

## 2. JMP2.0 の構成と記述上の留意点

### 2.1. JMP2.0 の構成

#### 2.1.1. 要素と要素体

JMP2.0 では、何らかの情報を記述する最小単位の項目のことを「要素」と呼び、1つ以上の要素の集合を「要素体」と呼びます。

要素体は、複数の要素や要素体をまとめたもので、それ自身に値を記述することはできません。一方、要素は、それ自身に値を記述することができます。要素と要素体の関係をツリー状に表現すると、以下ようになります。

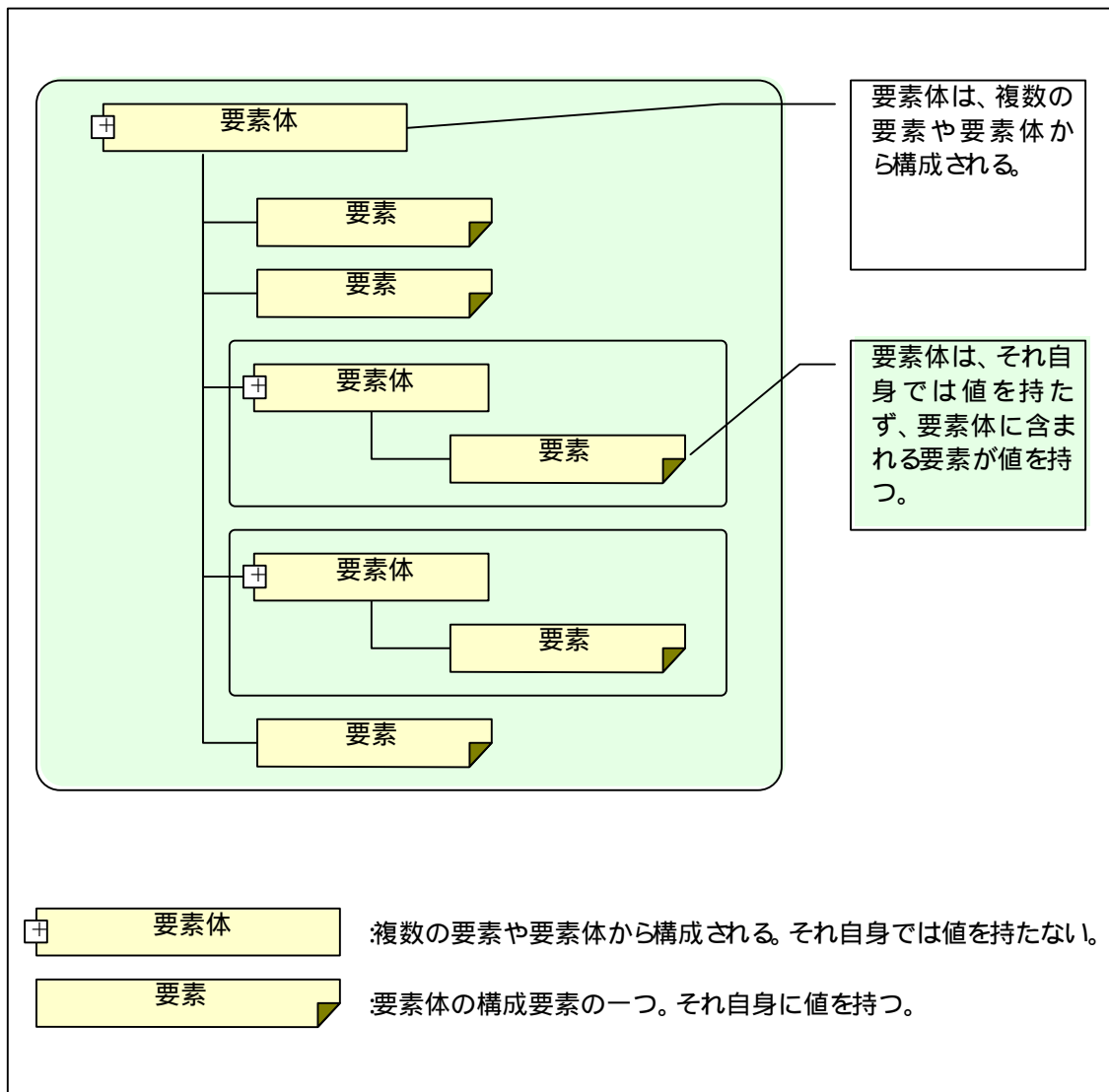


図 2-1 要素と要素体

### 2.1.2. 入力時の制約条件

JMP2.0 では、各要素ごとに入力条件を定めています。

表 2-1 入力時の制約条件

記述条件	定義と意味
必須	必ず記述しなければなりません。
条件付必須	設定されている条件を満たすときは、必ず記述しなければなりません。
任意記述	記述に際し、特に制約条件は設定されていません。 ただし、記述できるのであれば記述したほうが望ましいとされています。

記述条件は、要素体と要素の双方に設定されています。

要素体そのものが必須である場合は、要素体に含まれる要素のうち必須のものは必ず記述する必要があります。

要素体そのものが任意記述である場合は、その要素体に含まれる必須の要素は、必ずしも記述する必要はありません。

### 2.1.3. 入力時の記述回数

JMP2.0 の各要素及び要素体には、記述できる回数 (最小記述回数と最大記述回数) が定められています。

表 2-2 入力時の記述回数

最小記述回数	最大記述回数	表示例	定義と意味
0	1	[0..1]	0 回以上 1 回まで記述することができます。 任意記述かつ複数記述不可、と同じ意味になります。
0	N	[0..N]	0 回以上 N 回まで記述することができます。N には、任意の数字が入ります。 任意記述かつ指定回数まで記述可、と同じ意味になります。
0	*	[0..*]	0 回以上複数回記述することができます。上限はありません。 任意記述かつ複数記述可、と同じ意味になります。
1	1	[1..1]	1 回だけ記述することができます。 必須記述かつ複数記述不可、と同じ意味になります。
1	N	[1..N]	1 回以上 N 回まで記述することができます。N には、任意の数字が入ります。 必須記述かつ指定回数まで記述可、と同じ意味になります。
1	*	[1..*]	1 回以上複数回記述することができます。上限はありません。 必須記述かつ複数記述可、と同じ意味になります。

## 2.2. メタデータ記述上の留意点

ここでは、JMP2.0 というメタデータ標準の仕様書では詳細には規定はないものの、実際には記述上重要となる点について、補足情報を解説します。

### 2.2.1. カタカナの記述についての留意点

カタカナを記述する場合は、**すべて全角カタカナ**を利用します。

例)       :データ集合  
          ? データ集合

### 2.2.2. 英数字の記述についての留意点

アルファベット、数字及びその他の記号で記述する項目には、

- ・ 電話番号
- ・ 電子メールアドレス
- ・ URL
- ・ 日付

等がありますが、**すべて半角**を利用します。半角を利用する文字は、以下の通りです。

文字       : abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

数字       : 0123456789

記号       : ;:/% @ ¥+-. ,

? 文章のなかで上記の文字が使われる場合はこの限りではありませんが、その場合でも可能な限り上記の文字/数字/記号については半角の利用を推奨します。

例)       info@gsi.go.jp                   (電子メールアドレスの例。アットマークも半角)  
          http://www.gsi.go.jp           (URL の例。コロンやスラッシュ、ピリオドも半角)

### 2.2.3. 日付の記述様式についての留意点

日付については、すべて西暦とし、年、月、日を半角のハイフン記号 "-" でつないだ形式で記述します。

例)       2003-04-01  
          ? 2003/4/1  
          ? 20030401



### 3. JMP2.0 の各項目の解説

以下に、JMP2.0 の各要素の解説を記します。

各要素や要素体の名称及び番号は、全て『JMP2.0 仕様書』のデータ辞書に準じています。

#### 3.1. 凡例

##### 3.1.1. 要素体と要素の構成

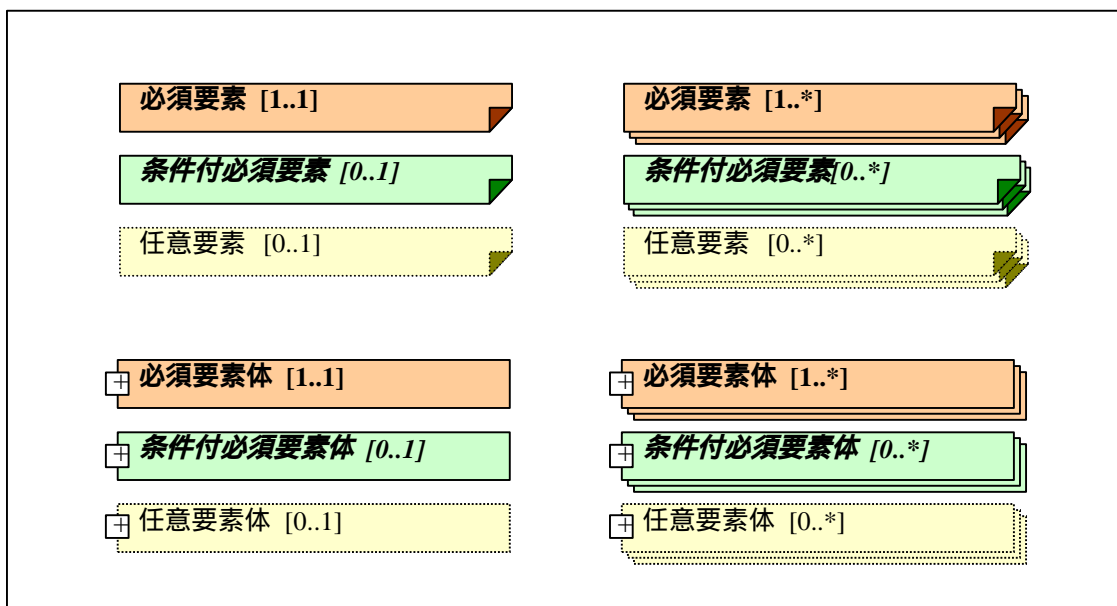


図 3-1 要素体と要素の構成

##### 3.1.2. 具体的な要素体と要素のパターン

要素体と要素には、それぞれに入力時の制約条件が決められています。実際には、以下のようなパターンに分けられます。

##### 要素体が必須の場合

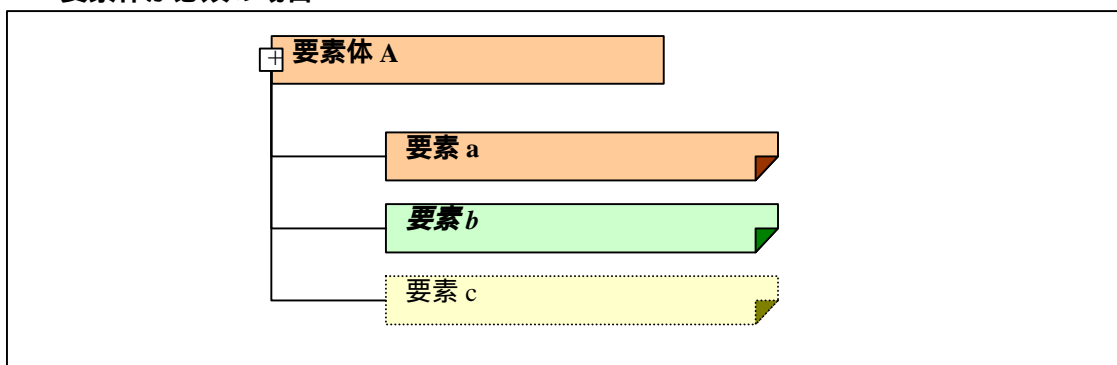


図 3-2 必須要素体 A

要素体が必須の場合は、要素体そのものが必ず記述される必要があります。つまりいかなる場合でも、必須要素体に含まれる必須要素は記述しなければなりません。図 3-2 の例では、[要素体

A]の必須条件を満たすためには、最低限[要素 a]の記述が必要です。

このとき、[要素 b]と[要素 c]は特に記述しなければならないわけではありませんが、[要素 a]を記述せずに、[要素 b]あるいは[要素 c]を記述することは許されません。

### 要素体が条件付必須の場合

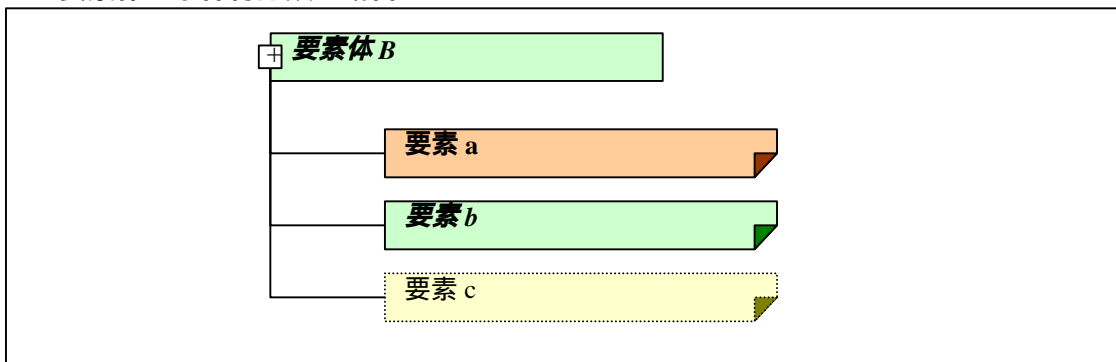


図 3-3 条件付必須要素体 B

要素体が条件付必須の場合は、要素体が必須となる条件を満たした場合、要素体そのものが必ず記述される必要があります。図 3-3 の例では、[要素体 B]が必須となる条件を満たした場合、最低限[要素 a]の記述が必要です。

このとき、[要素 b]と[要素 c]は特に記述しなければならないわけではありませんが、[要素 a]を記述せずに、[要素 b]あるいは[要素 c]を記述することは許されません。

### 要素体が任意記述の場合

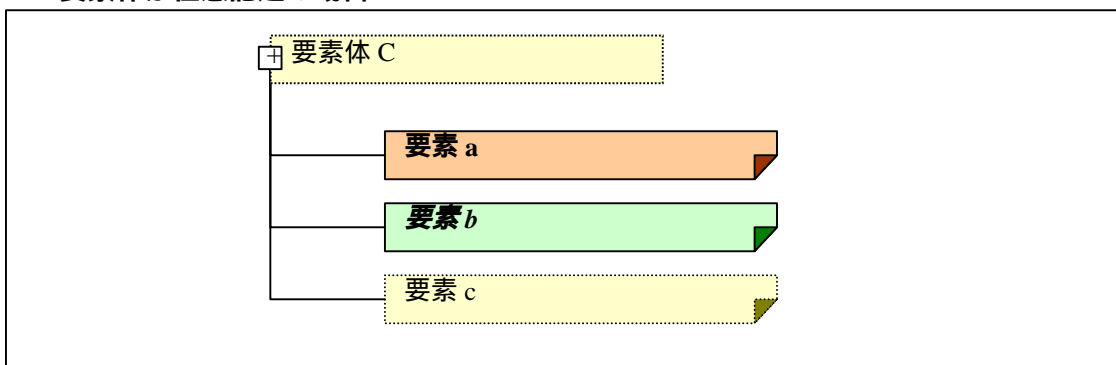


図 3-4 任意記述要素体 C

要素体が任意要素の場合は、要素体そのものは記述しなくてもかまいません。

ただし、記述するときは、要素体に含まれる要素のうち「必須要素」は必ず記述する必要があります。

図 3-4 の例では、[要素 b]と[要素 c]は特に記述しなければならないわけではありませんが、[要素 a]を記述せずに、[要素 b]あるいは[要素 c]を記述することは許されません。

## 3.1.3. 各要素の解説

表 3-1 各要素の解説

No.	要素名 (日本語)	要素あるいは要素体の日本語名称		
	要素名 (英語)	要素あるいは要素体の英語名称 (ISO19115 に基づく)		
	記述条件	必須   条件付必須   任意記述 の別		
	記述回数	最小	最小記述回数	
		最大	最大記述回数 (上限のない場合は * )	
	解説	要素あるいは要素体の解説		
	記述例	記述例		

No. は、『JMP2.0 仕様書』におけるデータ辞書の番号に対応しています。

### 3.2. メタデータ情報

#### 3.2.1. 要素体と要素の構成

以下に、メタデータ情報に含まれる要素と要素体の構成図を示します。

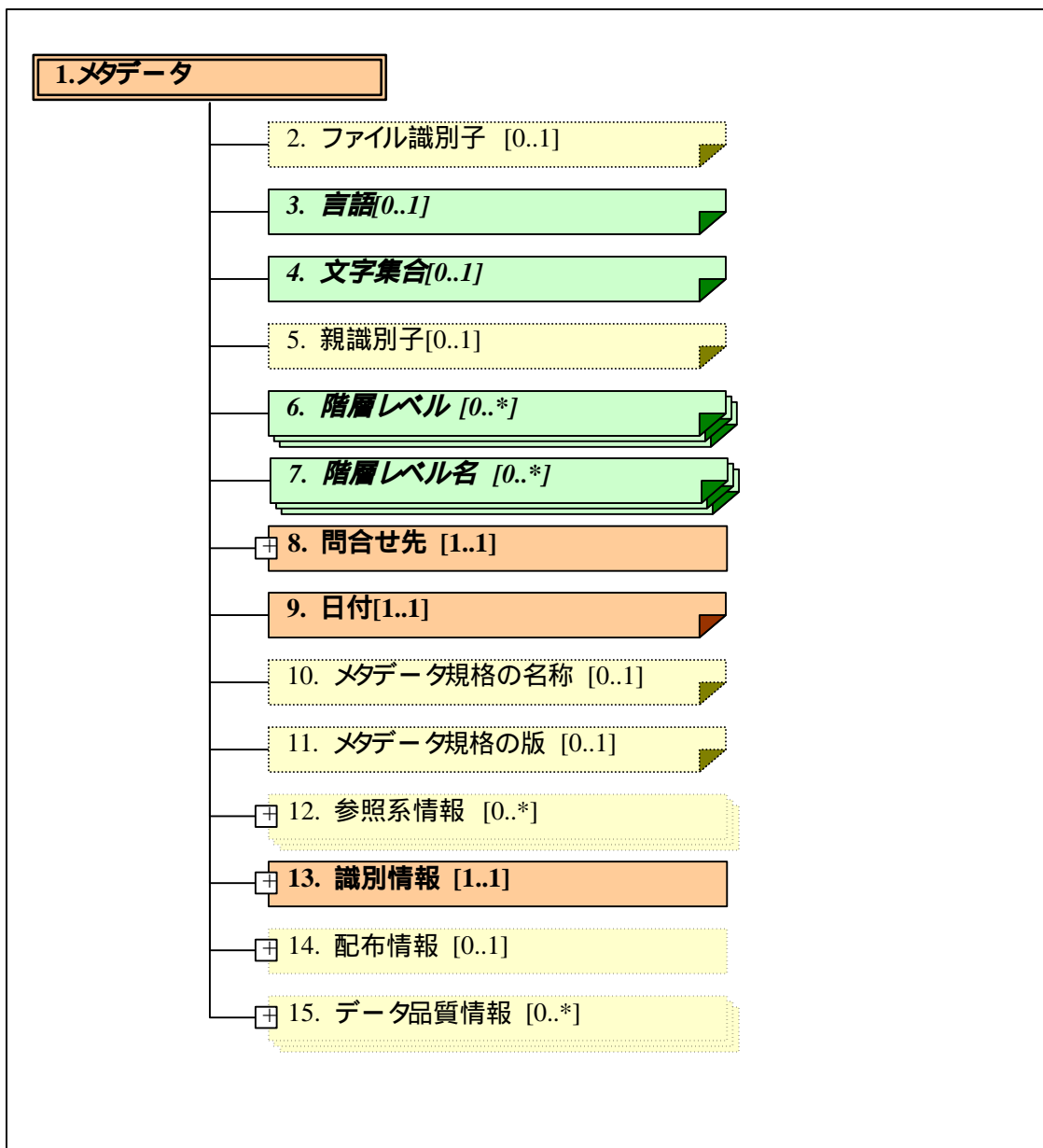


図 3-5 メタデータ情報の構成

### 3.2.2. 各要素の解説

以下に、メタデータ要素体に含まれる各要素及び要素体の詳細を解説します。

#### ファイル識別子

2	要素名 (日本語)	ファイル識別子	
	要素名 (英語)	fileIdentifier	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	<p>メタデータのファイル名など、他のメタデータと識別できる文字列を記述します。特に決まった書き方はありませんが、データ集合に関する整理番号、文書番号などがあれば、それを活用すると良いでしょう。あるいは作成年、縮尺などを組み合わせて書くことも考えられます。メタデータの更新を考えると、識別子は単に一意であるだけでなく、見つけやすいものが望ましいです。</p> <p>任意記述ではありますが、記述することを強く推奨します。</p>	
記述例	<p>“nm25000ibaraki”                      上記例は、国土地理院の数値地図 25000(空間データ基盤)「茨城」のメタデータにおけるファイル識別子です。</p>		

#### 言語

3	要素名 (日本語)	言語	
	要素名 (英語)	language	
	記述条件	条件付必須記述 符号化によって定義されていない場合	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	<p>メタデータを記述している言語を記述します。記述条件では、「符号化によって定義されていない場合」は必須とされています。</p> <p>JMP2.0 では、特に符号化の規定はありませんので、必須扱いになります。</p>	
記述例	<p>“jpn”                      日本語の場合は、上記のように“jpn”と書きます。</p>		

#### 文字集合

4	要素名 (日本語)	文字集合	
	要素名 (英語)	characterSet	
	記述条件	条件付必須記述 ISO-10646-1 が用いられていない場合	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	<p>メタデータを記述している文字コードを記述します。記述条件では、「ISO-10646-1 が用いられていない場合」は必須とされています。ISO-10646 とは、俗に言うUnicode (UTF-8、UTF-7、UTF-16 など)のことです。</p> <p>国内での利用であれば、Shift_JIS や JIS コードの利用が想定されるので、その場合は必ず記述します。実際には、別途指定されるコードリスト H4.1 文字コードから1つを選択します。</p>	

記述例	文字コードが“Shift_JIS”の場合は、コードリストから“023”というコードを記述することになります。
-----	--

### 親識別子

5	要素名 (日本語)	親識別子	
	要素名 (英語)	parentIdentifier	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> [No.6 階層レベル]が“データ集合”でない場合	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	データ集合シリーズについてのメタデータなど、親のメタデータが作成されている場合にその識別子を記述することができます。	
記述例	“nm2500series” 上記例は、国土地理院の数値地図 2500 (空間データ基盤)シリーズのメタデータが存在していた場合の、メタデータ親識別子の例です。		

### 階層レベル

6	要素名 (日本語)	階層レベル	
	要素名 (英語)	hierarchyLevel	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> “データ集合”でない場合	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	メタデータの適用範囲、つまりメタデータが対象とする適用範囲を記述します。実際には、別途指定されるコードリスト4.2 適用範囲コードから1つを選択します。選択しなかった場合は、“データ集合”であるとみなされます。 この要素は、複数記述することができます。	
記述例	コードリスト4.2 適用範囲コードから1つを選択します。 たとえば、“シリーズ”としたい場合は、“006”と記述します。		

### 階層レベル名

7	要素名 (日本語)	階層レベル名	
	要素名 (英語)	hierarchyLevelName	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> [No.6 階層レベル]が “データ集合” でない場合は必須	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	階層レベルの具体的な名称を記述します。[No.6 階層レベル]が “データ集合” 以外の場合は、必ず記述しなければなりません。 この要素は、複数記述することができます。	
記述例	“数値地図 25000 シリーズ” 上記の例は、メタデータが説明する対象が数値地図 25000 のシリーズであった場合のものであります。		

### 問合せ先

8	要素名 (日本語)	問合せ先 要素体 (責任者)
	要素名 (英語)	contact

記述条件	<b>必須記述</b>	
記述回数	最小	1
	最大	1
解説	メタデータに対する問合せ先の情報を記述します。	
記述例	ここでは、問合せ情報の要素体[3.9 責任者情報]が挿入されます。	

### 日付

9	要素名 (日本語)	日付		
	要素名 (英語)	dateStamp		
	記述条件	<b>必須記述</b>		
	記述回数	最小	1	
		最大	1	
	解説	メタデータを整備した日付を記述します。4桁の西暦+"-" + 2桁の月+"-" + 2桁の日という形式で記述します。		
記述例	"2003-04-01" 上記例は、メタデータが 2003 年 4 月 1 日に書かれた例を記述したものです。			

### メタデータ規格の名称

10	要素名 (日本語)	メタデータ規格の名称		
	要素名 (英語)	metadataStandardName		
	記述条件	<b>任意記述</b>		
	記述回数	最小	0	
		最大	1	
	解説	メタデータ規格を参照しているメタデータであれば、メタデータ規格の名前を書きます。		
記述例	"JMP" JMP2.0 のメタデータを記述していますので、特に断りの無い限り ここは"JMP"と書きます。 JMP2.0 エディタを利用してメタデータを作成する場合は、自動的に値が挿入されます。			

### メタデータ規格の版

11	要素名 (日本語)	メタデータ規格の版		
	要素名 (英語)	metadataStandardVersion		
	記述条件	<b>任意記述</b>		
	記述回数	最小	0	
		最大	1	
	解説	メタデータ規格を参照しているメタデータであれば、そのメタデータ規格の版 (バージョン)を書きます。		
記述例	"2.0" JMP2.0 のメタデータを記述していますので、特に断りの無い限り ここは"2.0"と書きます。 JMP2.0 エディタを利用してメタデータを作成する場合は、自動的に値が挿入されます。			

### 参照系情報

12	要素名 (日本語)		参照系情報 要素体
	要素名 (英語)		referenceSystemInfo
	記述条件		任意記述
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説		メタデータで対象としているデータの参照系情報を記述します。 この要素体は、複数記述することができます。
記述例		ここには、参照系情報の要素体[3.5 参照系情報]が挿入されます。	

### 識別情報

13	要素名 (日本語)		識別情報 要素体
	要素名 (英語)		identificationInfo
	記述条件		必須記述
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説		メタデータで対象としているデータの識別情報を記述します。
記述例		ここには、識別情報の要素体[3.3 識別情報]が挿入されます。	

### 配布情報

14	要素名 (日本語)		配布情報 要素体
	要素名 (英語)		distributionInfo
	記述条件		任意記述
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説		メタデータ対象としているデータの配布情報を記述します。
記述例		ここには、配布情報の要素体[3.6 配布情報]が挿入されます。	

### データ品質情報

15	要素名 (日本語)		データ品質情報 要素体
	要素名 (英語)		dataQualityInfo
	記述条件		任意記述
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説		メタデータで対象としているデータの品質情報を記述します。 この要素体は、複数記述することができます。
記述例		ここには、品質情報の要素体[3.4 データ品質情報]が挿入されます。	



### 3.3. 識別情報

#### 3.3.1. 要素体と要素の構成

以下に、識別情報に含まれる要素と要素体の構成図を示します。

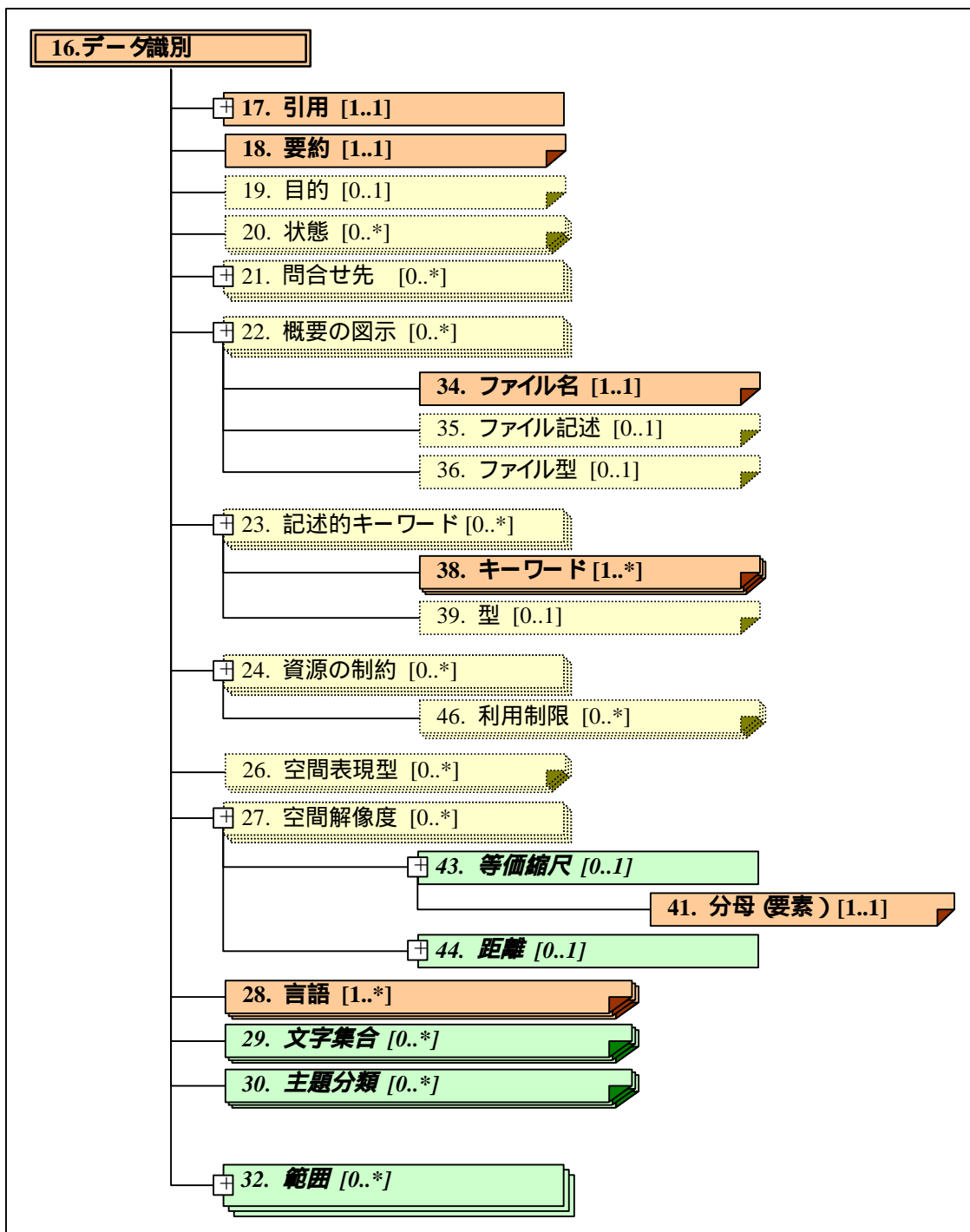


図 3-6 識別情報の構成

### 3.3.2. 各要素の解説

以下に、識別情報に含まれる各要素及び要素体の詳細を解説します。

#### 引用

17	要素名 (日本語)	引用 要素体	
	要素名 (英語)	citation	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	一つ以上の情報資源の引用データ。データを作成する際に引用した情報を記述します。	
記述例	ここには、引用情報を記述する要素体 3.8 引用情報]が挿入されます。		

#### 要約

18	要素名 (日本語)	要約	
	要素名 (英語)	abstract	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	データの内容を簡潔に記します。書式や書き方は特に決まっていませんので、記述例を参考に自由に記述してください。	
記述例	<p>“数値地図 25000 (空間データ基盤)は、国土全体を覆う最大縮尺の GIS 基盤情報で、公共機関の計画、学校教育、民間地図の基礎等に利用されています。本データは、空中写真を用いて実際に測量し、現地調査を行って作成したデータです。”</p> <p>”</p> <p>上記は、数値地図 25000 (空間データ基盤)の例です。</p>		

#### 目的

19	要素名 (日本語)	目的	
	要素名 (英語)	purpose	
	記述条件	<b>任意記述</b>	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	データが作成された趣旨 (どのような目的のためにデータが作成されたか)を簡潔に記します。書式や書き方は特に決まっていませんので、記述例を参考に自由に記述してください。	
記述例	<p>“基本測量長期計画に基づく基本測量の成果です ”</p> <p>上記は、数値地図 25000 (空間データ基盤)の例です。</p>		

#### 状態

20	要素名 (日本語)	状態	
	要素名 (英語)	status	
	記述条件	<b>任意記述</b>	
	記述回数	最小	0
		最大	*

20	解説	データが現在どういう状態にあるかを、コードリスト4.4 進捗コードから選択します。 この要素は、複数記述することができます。
	記述例	たとえば、状態が ”完成” の場合は “001” というコードを記述します。

### 問合せ先

21	要素名 (日本語)	問合せ先 要素体	
	要素名 (英語)	pointOfContact	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	データに関する問合せ先の情報を記述することができます。 この要素体は、複数記述することができます。	
記述例	ここでは、問合せ先情報の要素体[3.9 責任者情報]が挿入されます。		

### 概要の図示

22	要素名 (日本語)	概要の図示 要素体	
	要素名 (英語)	graphicOverView	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	データのイメージ画像など、データの概要を表現した図がある場合は、その図についての情報を記述することができます。 この要素体は、複数記述することができます。	
記述例	No.34 ~ No.36 の要素を含む要素体です。		

### ファイル名

34	要素名 (日本語)	ファイル名	
	要素名 (英語)	fileName	
	記述条件	必須記述	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	概要図のファイル名称を記述します。	
記述例	任意のファイル名称を記述します。		

### ファイル記述

35	要素名 (日本語)	ファイル記述	
	要素名 (英語)	fileDescription	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	概要図についての説明を記述することができます。	
記述例	“ 数値地図 25000 (空間データ基盤 東京都)のデータ概要を表現したイメージ画像です。”		

### ファイル型

36	要素名 (日本語)	ファイル型
----	-----------	-------

要素名 (英語)		fileType
記述条件		任意記述
記述回数	最小	0
	最大	1
解説		概要図のファイル型を記述することができます。
記述例		“Tiff”, “Jpeg”, など

### 記述的キーワード

23	要素名 (日本語)		記述的キーワード 要素体
	要素名 (英語)		descriptiveKeywords
	記述条件		任意記述
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説		データを分類するためのキーワードを記述することができます。 この要素体は、複数記述することができます。
記述例		No.38 ~ No.39 の要素を含む要素体です。	

### キーワード

38	要素名 (日本語)		キーワード
	要素名 (英語)		keyword
	記述条件		必須記述
	記述回数	最小	1
		最大	*
	解説		データを分類するためのキーワードを記述します。たとえば、データを端的にあらわす語句やことば (文章は記述できません)、特定の場所を表す名称などです。 この要素は、複数記述することができます。
記述例		“空間データ基盤”, “ 山”, “ 湾”, など	

### 型

39	要素名 (日本語)		型
	要素名 (英語)		type
	記述条件		任意記述
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説		[No.38 キーワード]の型を記述することができます。キーワード型は、コードリスト4.5 キーワードタイプコードのなかから1つを選択します。
記述例		場所に関するキーワードの場合は、“002”, 主題に関するキーワードの場合は、“005” というコードを記述します。	

### 資源の制約

24	要素名 (日本語)		資源の制約 要素体
	要素名 (英語)		resourceConstraints
	記述条件		任意記述
	記述回数	最小	0
		最大	*

解説	制約条件等がある場合、それを記述することができます。 この要素体は、複数記述することができます。
記述例	No.46 の要素を含む要素体です。

### 利用制限

46	要素名 (日本語)	利用制限	
	要素名 (英語)	useLimitation	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	データ利用上の制約条件等がある場合、それを記述することができます。 この要素は、複数記述することができます。	
記述例	“非商用利用に限る” など		

### 空間表現型

26	要素名 (日本語)	空間表現型	
	要素名 (英語)	spatialRepresentationType	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	ベクター、画像、表など、データの表現形式を記述することができます。コードリスト4.6 空間表現型コードのなかから1つを選択します。 この要素は、複数記述することができます。	
記述例	たとえば、ベクターデータの場合は、対応するコードである“001”を記述します。		

### 空間解像度

27	要素名 (日本語)	空間解像度 要素体	
	要素名 (英語)	spatialResolution	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	データの縮尺や解像度を記述します。 この要素体は、複数記述することができます。	
記述例	No.43 ~ No.44 の要素を含む要素体です。		

### 等価縮尺

43	要素名 (日本語)	等価縮尺 要素体	
	要素名 (英語)	equivalentScale	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> 等価縮尺   距離のいずれかを記述する。	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	データの縮尺を記述します。空間解像度として等価縮尺を記述する場合に記述します。	
記述例	No.41 の要素を含む要素体です。		

分母

41	要素名 (日本語)		分母
	要素名 (英語)		denominator
	記述条件		<b>必須記述</b>
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説		縮尺を記述する場合は、その縮尺の分母の値を記述します。
記述例		“25000” 縮尺が 1/25000 の場合。	

距離

44	要素名 (日本語)		距離 要素体
	要素名 (英語)		distance
	記述条件		<b>条件付必須記述</b> 等価縮尺   距離のいずれかを記述する。
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説		距離によってデータの解像度を記述する場合は、その値を記述します。空間解像度として距離を記述する場合に記述します。
記述例		ここでは、Distance 要素体が挿入されます。 Distance 要素体は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 距離の値 (必須記述)</li> <li>・ 単位の名称 (必須記述)</li> <li>・ 単位の種類 (任意記述)</li> </ul> という3つの要素から構成されます。 たとえば、データの解像度が 10m であった場合は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 距離の値 : “10”</li> <li>・ 単位の名称 : “meter”</li> <li>・ 単位の種類 : “distance”</li> </ul> のような記述になります。	

言語

28	要素名 (日本語)		言語
	要素名 (英語)		language
	記述条件		<b>必須記述</b>
	記述回数	最小	1
		最大	*
	解説		データを記述するのに用いられる言語を記述します。 この要素は、複数記述することができます。
記述例		“jpn” 日本語の場合は、上記のように“jpn”と書きます。	

文字集合

29	要素名 (日本語)		文字集合
	要素名 (英語)		characterSet
	記述条件		<b>条件付必須記述</b> ISO-10646-1 が用いられていない場合
	記述回数	最小	0

	最大	*
解説	データを記述している文字コードを記述します。記述条件では、「ISO-10646-1 が用いられていない場合」は必須とされています。ISO-10646 とは、俗に言うUnicode (UTF-8、UTF-7、UTF-16 など)のことです。国内での利用であれば、Shift_JIS や JIS コードの利用が想定されるので、その場合は必ず記述します。実際には、別途指定されるコードリスト4.1文字コードから選択します。	
記述例	文字コードが “Shift_JIS” の場合は、コードリストから“023” というコードを記述することになります。	

**主題分類**

30	要素名 (日本語)	主題分類	
	要素名 (英語)	topicCategory	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> [No.6 階層レベル]が“データ集合”の場合は必須	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	データを分類するための主題を記述します。主題は、別途提供されるコードリスト4.7 主題コードのなかから選択します。この要素は、複数記述することができます。	
記述例	データの主題が農業である場合は、該当するコードである “001” を、主題が環境である場合は、該当するコードである “007” を記述します		

**範囲**

32	要素名 (日本語)	範囲 要素体	
	要素名 (英語)	extent	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> [No.6 階層レベル]が “データ集合” の場合は、範囲に含まれる [No.103 地理境界ボックス]か[No.108 座標境界ボックス]か[No.113 地理記述]が必須	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	データの時間的、空間的な範囲を記述できます。	
記述例	ここには、範囲情報の要素体[3.7 範囲情報]が挿入されます。		

### 3.4. データ品質情報

#### 3.4.1. 要素体と要素の構成

以下に、データ品質情報に含まれる要素と要素体の構成図を示します。

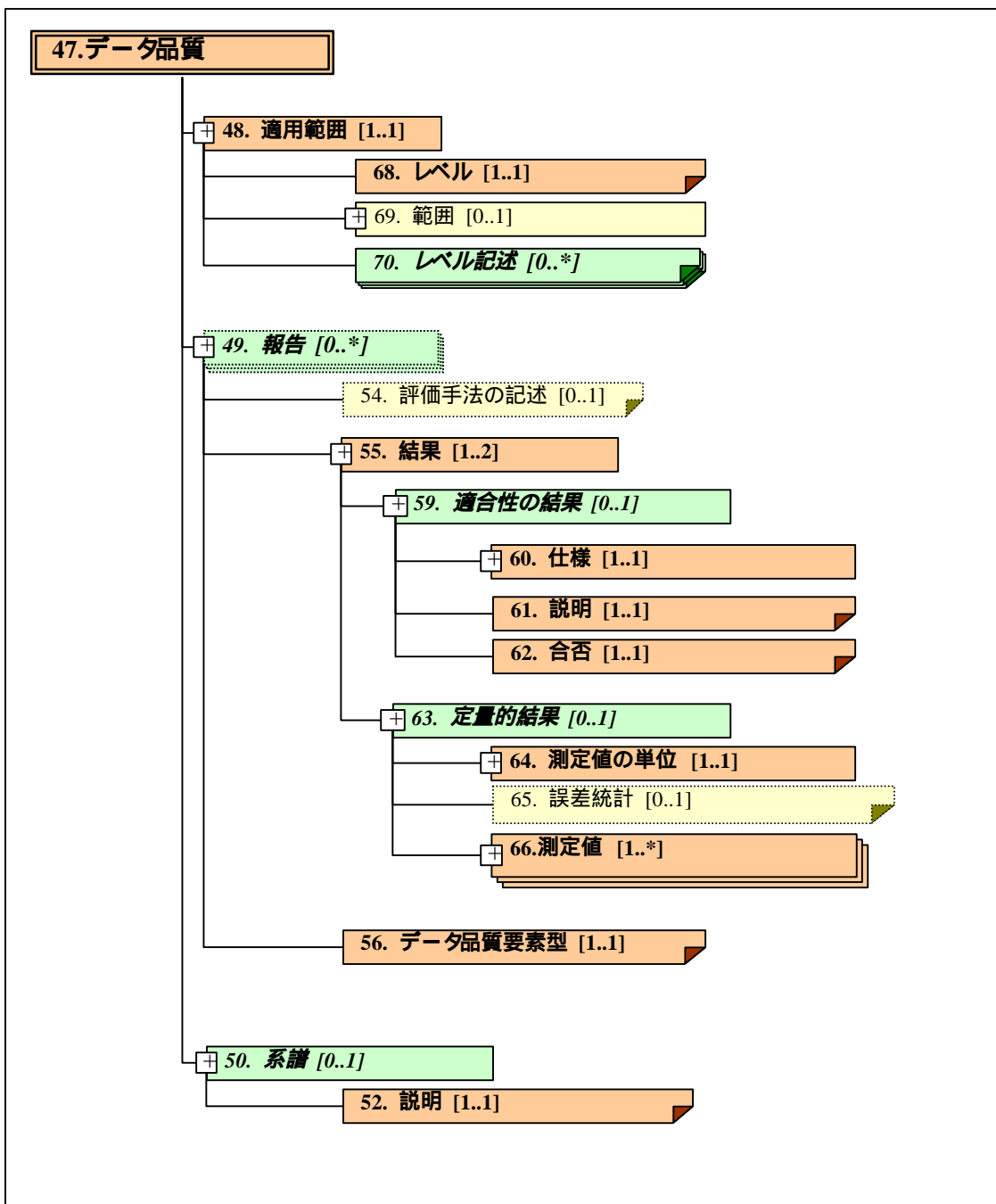


図 3-7 データ品質情報の構成



### 3.4.2. 各要素の解説

以下に、データ品質情報に含まれる各要素及び要素体の詳細を解説します。

#### 適用範囲

48	要素名 (日本語)	適用範囲	要素体	
	要素名 (英語)	scope		
	記述条件	必須記述		
	記述回数	最小	1	
		最大	1	
	解説	データ品質を記述する際の、品質を記述する対象データの適用範囲を記述します。		
記述例	No.68 ~ No.70 の要素を含む要素体です。			

#### レベル

68	要素名 (日本語)	レベル	
	要素名 (英語)	level	
	記述条件	必須記述	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	データ品質情報 (データに対して行った品質評価についての説明記述) は、データの空間的な部分や地物の種類によって異なることがあり得るため、データに含まれている一部分についても記述できるようになっています。データ品質情報の適用規模は、必ずしも[No.6 階層レベル]と同一ではなく、メタデータが説明しているデータ全体のことを指すこともあれば、データの一部のこともあります。 コードリスト4.2 適用範囲コードを参照し、選択します。	
記述例	<p>例 1: 品質評価の対象がデータ全体 (データ集合)ではなく、データ集合に含まれるある特定の地物にのみ評価を行ったような場合は、適用範囲のレベルは "地物" あるいは "地物型" になります。</p> <p>例 2: データ集合に含まれる属性に対して、記述ミスや漏れ等の品質評価を行ったような場合は、適用範囲のレベルは "属性" あるいは "属性型" になります。</p> <p>上記例に従い、コードリスト4.2 適用範囲コードから1つを選択します。たとえば、"地物" の場合は該当するコードである "009" を、"属性" であれば該当するコードである "001" のように記述することになります。</p>		

#### 範囲

69	要素名 (日本語)	範囲	要素体	
	要素名 (英語)	extent		
	記述条件	任意記述		
	記述回数	最小	0	
		最大	1	
	解説	データ品質を記述する際の、データの品質情報を適用するデータの時間的、空間的な範囲を記述することができます。		
記述例	ここでは、範囲情報の要素体[3.7 範囲情報]が挿入されます。			

### レベル記述

70	要素名 (日本語)	レベル記述	
	要素名 (英語)	levelDescription	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> [No.68 レベル]が "データ集合", あるいは "シリーズ" 以外の場合は必須記述。	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	[No.68 レベル] について、ここでは具体的にそのコードに対応する説明を記入します。 この要素は、複数記述することができます。	
記述例	例 1: [No.68 レベル] が "009" (地物) のとき、たとえば "道路" と記入します。 例 2: No.68 レベル] が "001" (属性) のとき、たとえば "公共施設の名称" と記入します。		

### 報告

49	要素名 (日本語)	報告 要素体	
	要素名 (英語)	report	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> [No.68 レベル]が "データ集合" のときは、[No.49 報告]あるいは[No.50 系譜]のいずれかが必須となる。	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	データ品質を記述する際、データの品質評価を行った具体的な結果報告を記述することができます。 この要素体は、複数記述することができます。	
記述例	No.54 ~ No.57 の要素を含む要素体です。		

### 評価手法の記述

54	要素名 (日本語)	評価手法の記述	
	要素名 (英語)	evaluationMethodDescription	
	記述条件	<b>任意記述</b>	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	品質評価を行った具体的な手法について記述することができます。	
記述例	"製品仕様書に従った適合性評価を行った" 等		

### 結果

55	要素名 (日本語)	結果 要素体	
	要素名 (英語)	result	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	2

解説	適合性の結果と定量的結果のいずれかは必ず記述する必要があります。両方を記述することもできます。
記述例	No.59 ~ No.66 の要素を含む要素体です。

### データ品質要素型

56	要素名 (日本語)	データ品質要素型	
	要素名 (英語)	typeOfQualityEvaluation	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	品質要素の型を記述します。コードリスト4.9 データ品質要素型コードからの選択となります。	
記述例	たとえば、“完全性 (漏れ)” の場合は該当するコード “002” を、“時間測定正確度” の場合は該当するコード “010” を記述します。		

### 適合性の結果

59	要素名 (日本語)	適合性の結果 要素体	
	要素名 (英語)	ConformanceResult	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> (No.49 報告]を記述する場合は少なくとも[No.59 適合性の結果]あるいは[No.63 定量的結果]のいずれかが必須	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	[No.55 結果]のうち、適合性の評価結果に関する情報を記述する要素体です。適合性の評価結果とは、品質仕様書等の適合性の判定基準に対し、それを満たす (= 適合している)かどうかを評価するものです。	
記述例	No.60 ~ No.62 の要素を含む要素体です。		

### 仕様

60	要素名 (日本語)	仕様 要素体	
	要素名 (英語)	specification	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	適合性の評価に用いる文書や資料、製品仕様書等への引用情報を記述します。	
記述例	ここでは、[3.8 引用情報]が挿入されます。		

### 説明

61	要素名 (日本語)	説明	
	要素名 (英語)	Explanation	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
解説	仕様書等に基づいた適合性の評価に対する意味について記述します。		

記述例	“各地物が、図式に基づき正しく分類（記号化）されているかを空中写真、資料等を用いて目視検査し、誤りが発見された場合には、訂正する。” など
-----	--

### 合否

62	要素名 (日本語)	合否	
	要素名 (英語)	pass	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	[No.60 仕様]によって定義した適合性をはかるための仕様書に対し、適合していたかどうかを記述します。	
記述例	“合格”/“不合格” のいずれかを記述します。 実際には、 ”合格”=1 ”不合格”=0 というコードで記述します。		

### 定量的結果

63	要素名 (日本語)	定量的結果 要素体	
	要素名 (英語)	QuantitativeResult	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> (No.49 報告)を記述する場合は、少なくとも[No.59 適合性の結果]あるいは[No.63 定量的結果]のいずれかが必須	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	品質評価結果のうち、定量的な評価結果に関する情報記述する要素体です。定量的な評価結果とは、「位置正確度が+/-50cm」のように、データに対して数値のような定量的な値をもって評価するものです。	
記述例	? No.64 ~ No.66 の要素を含む要素体です。		

### 測定値の単位

64	要素名 (日本語)	測定値の単位 要素体	
	要素名 (英語)	valueUnit	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	定量的な評価を行うにあたり、用いる単位を記述することができます。	
記述例	単位の記述には、UnitOfMeasure を用います。 UnitOfMeasure は、 ・ 単位の名称 (必須記述) ・ 単位の種類 (任意記述) という2つの要素から構成されます。たとえば、品質評価を全数検査による完全性の検査を行い、その結果を百分率で表現するとすると ・ 単位の名称 percent ・ 単位の種類 percentage というような記述になります。		

### 誤差統計

65	要素名 (日本語)		誤差統計
	要素名 (英語)		errorStatistic
	記述条件		任意記述
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説		定量的な評価を行うにあたり 評価値を決定するために用いた統計的な手法について記述することができます。
記述例		“誤差測定”, “全件チェック”, “目視” など。	

### 測定値

66	要素名 (日本語)		測定値
	要素名 (英語)		value
	記述条件		必須記述
	記述回数	最小	1
		最大	*
	解説		定量的な評価を行った結果得られた実際の値を記述します。 この要素は、複数記述することができます。
記述例		No.64 で記述した評価値の単位に従い、その値を記述します。	

### 系譜

51	要素名 (日本語)		系譜 要素体
	要素名 (英語)		lineage
	記述条件		<b>条件付必須記述</b> [No.68 レベル]が “データ集合” のときは、[No.49 報告]あるいは [No.50 系譜]のいずれかが必須となる。
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説		データの系譜に関する情報を記述することができます。
記述例		No.52 の要素を含む要素体です。	

### 説明

52	要素名 (日本語)		説明
	要素名 (英語)		statement
	記述条件		必須記述
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説		データの系譜 (データが作成されるまでの過去の記録や履歴、元データの概要) などについて、簡潔に記述します。
記述例		“基準点は、国土地理院の基準点成果表より作成したデータ。格子点の標高は、国土地理院発行の数値地図 50mメッシュ (標高) を使用して作成した 2 秒メッシュのデータ。その他の項目は、国土地理院の 1/25000 地形図原データから取り出したデータ。なお、収録データの座標値は、経緯度を秒単位で小数点以下 4 桁で表されている。” など。	

### 3.5. 参照系情報

#### 3.5.1. 要素体と要素の構成

以下に、参照系情報に含まれる要素と要素体の構成図を示します。

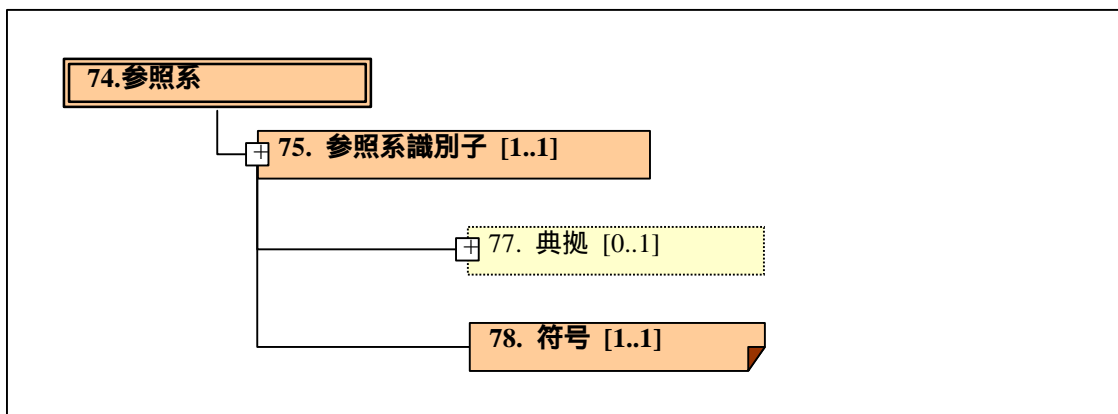


図 3-8 参照系情報の構成

#### 3.5.2. 各要素の解説

以下に、参照系情報に含まれる各要素及び要素体の詳細を解説します。

##### 参照系識別子

75	要素名 (日本語)	参照系識別子 要素体	
	要素名 (英語)	referenceSystemIdentifier	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	データをカバーする参照系識別子を記述するための要素体です。典拠 (要素体) と 符号 (要素) を含みます。	
記述例	No.77 ~ No.78 の要素を含みます。		

##### 典拠

77	要素名 (日本語)	典拠 要素体 (引用)	
	要素名 (英語)	authority	
	記述条件	<b>任意記述</b>	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	参照系識別子に関する引用情報を記述します。	
記述例	ここには、引用情報の要素体[3.8 引用情報]が挿入されます。		

##### 符号

78	要素名 (日本語)	符号
	要素名 (英語)	code
	記述条件	<b>必須記述</b>
	記述回数	最小 1

最大	1
解説	<p>参照系を示す一意な符号を記述します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・座標参照系を記述する場合は、測地原子 + ”/” + 座標系</li> <li>・地理識別子を記述する場合は、地名等の特定の領域を示す名称を記述することができます。</li> </ul>
記述例	<p>座標参照系の符号を記述する例：  “JGD2000 / (B, L)”  上記の例は、測地原子が日本測地系 2000 であり、座標系が緯度座標系であることを示しています。  座標参照系の記述については、[5.1 座標参照系の識別子の表記法]で詳しく解説しています。</p> <p>地理識別子を記述する例：  “東京都 23 区”, “霞ヶ浦”, など  上記の例のように、地名以外にも特定の領域を表す地理的な名前を記述することができます。</p>

### 3.6. 配布情報

#### 3.6.1. 要素体と要素の構成

以下に、配布情報に含まれる要素と要素体の構成図を示します。

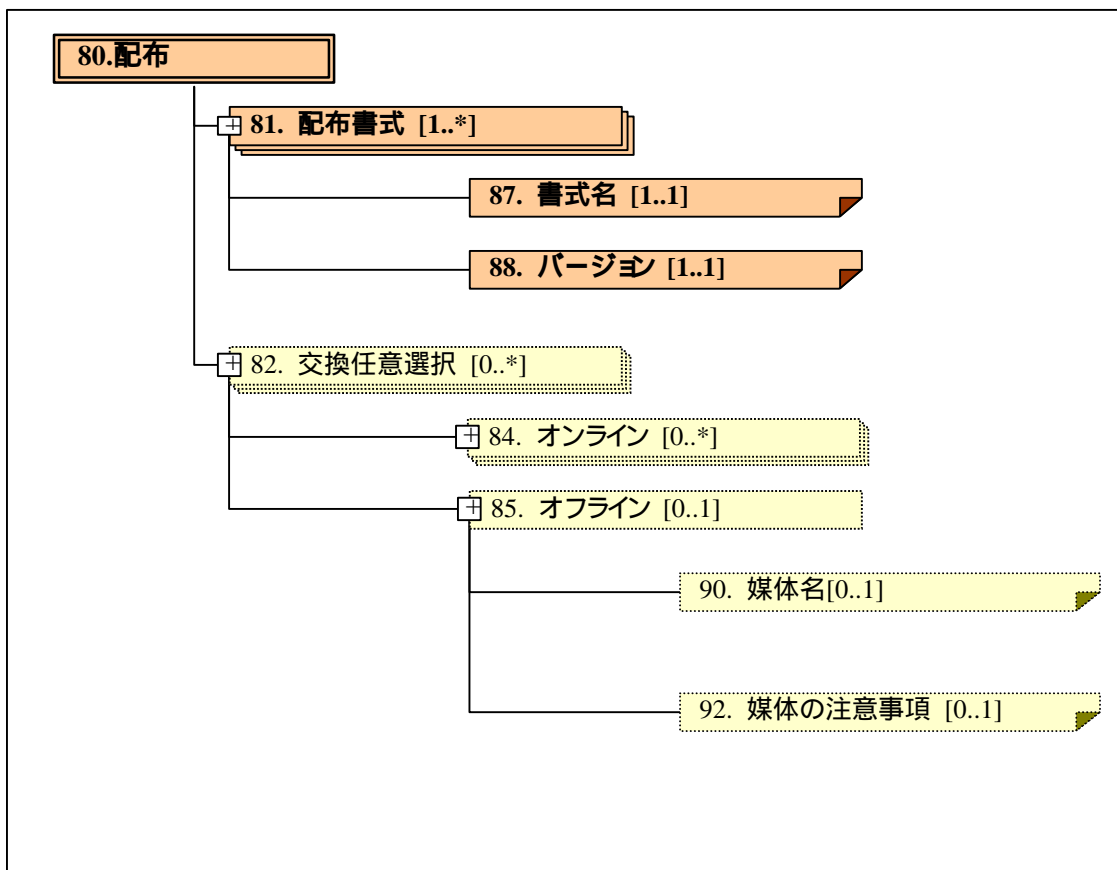


図 3-9 配布情報の構成

#### 3.6.2. 各要素の解説

以下に、配布情報に含まれる各要素及び要素体の詳細を解説します。

##### 配布書式

81	要素名 (日本語)	配布書式	要素体 (形式)	
	要素名 (英語)		distributionFormat	
	記述条件	任意記述		
	記述回数	最小	1	
		最大	*	
	解説	データを配布する際のデータフォーマットに関する情報を記述します。この要素体は、複数記述できます。		
記述例	No.87 ~ No.88 の要素を含む要素体です。			

##### 書式名

87	要素名 (日本語)	書式名
	要素名 (英語)	name



記述条件	<b>必須記述</b>	
記述回数	最小	1
	最大	1
解説	データを配布する際のデータフォーマットの名称を記述します。記述形式は自由ですので、わからない場合は "不明" と書いてください。	
記述例	"G-XML", "DXF", "不明" など。	

### バージョン

88	要素名 (日本語)	バージョン	
	要素名 (英語)	version	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	[No.87 書式名]で記述したデータフォーマットのバージョンを記述します。記述形式は自由ですので、わからない場合は "不明" と書いてください。	
記述例	"2.0", "R13", "不明" など。		

### 交換任意選択

82	要素名 (日本語)	交換任意選択 要素体 (デジタル交換任意選択)	
	要素名 (英語)	transferOptions	
	記述条件	<b>任意記述</b>	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	データを配布する手段について、その詳細な情報を記述することができます。この要素体は、複数記述することができます。	
記述例	No.84 ~ No.85 の要素を含む要素体です。		

### オンライン

84	要素名 (日本語)	オンライン 要素体	
	要素名 (英語)	onLine	
	記述条件	<b>任意記述</b>	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	データをオンラインで配布する場合、そのリンク先等の情報を記述することができます。この要素体は、複数記述することができます。	
記述例	ここには、オンライン情報資源[3.10 オンライン情報資源]が挿入されます。		

### オフライン

85	要素名 (日本語)	オフライン 要素体 (媒体)	
	要素名 (英語)	offLine	
	記述条件	<b>任意記述</b>	
	記述回数	最小	0
		最大	1

解説	データを配布する際にオフラインで行う場合、その詳細情報を記述することができます。
記述例	No.90 ~ No.92 の要素を含む要素体です。

### 媒体名

90	要素名 (日本語)	媒体名	
	要素名 (英語)	name	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	データをオフラインで配布する場合に用いる配布媒体の名称を記述することができます。配布媒体の名称は、コードJ4.8 配布媒体コードから選択します。	
記述例	コードJ4.8 配布媒体コードから1つを選択します。 たとえば、“CD-ROM” の場合は該当するコードである “001” を、“MO” ならば該当するコードである “019” を記述します。		

### 媒体の注意事項

92	要素名 (日本語)	媒体の注意事項	
	要素名 (英語)	mediumNote	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	配布媒体について、特記事項や備考があれば記述することができます。	
記述例	“現在の配布媒体は、CD-ROM のみです。” など。		

### 3.7. 範囲情報

#### 3.7.1. 要素体と要素の構成

以下に、範囲情報に含まれる要素と要素体の構成図を示します。

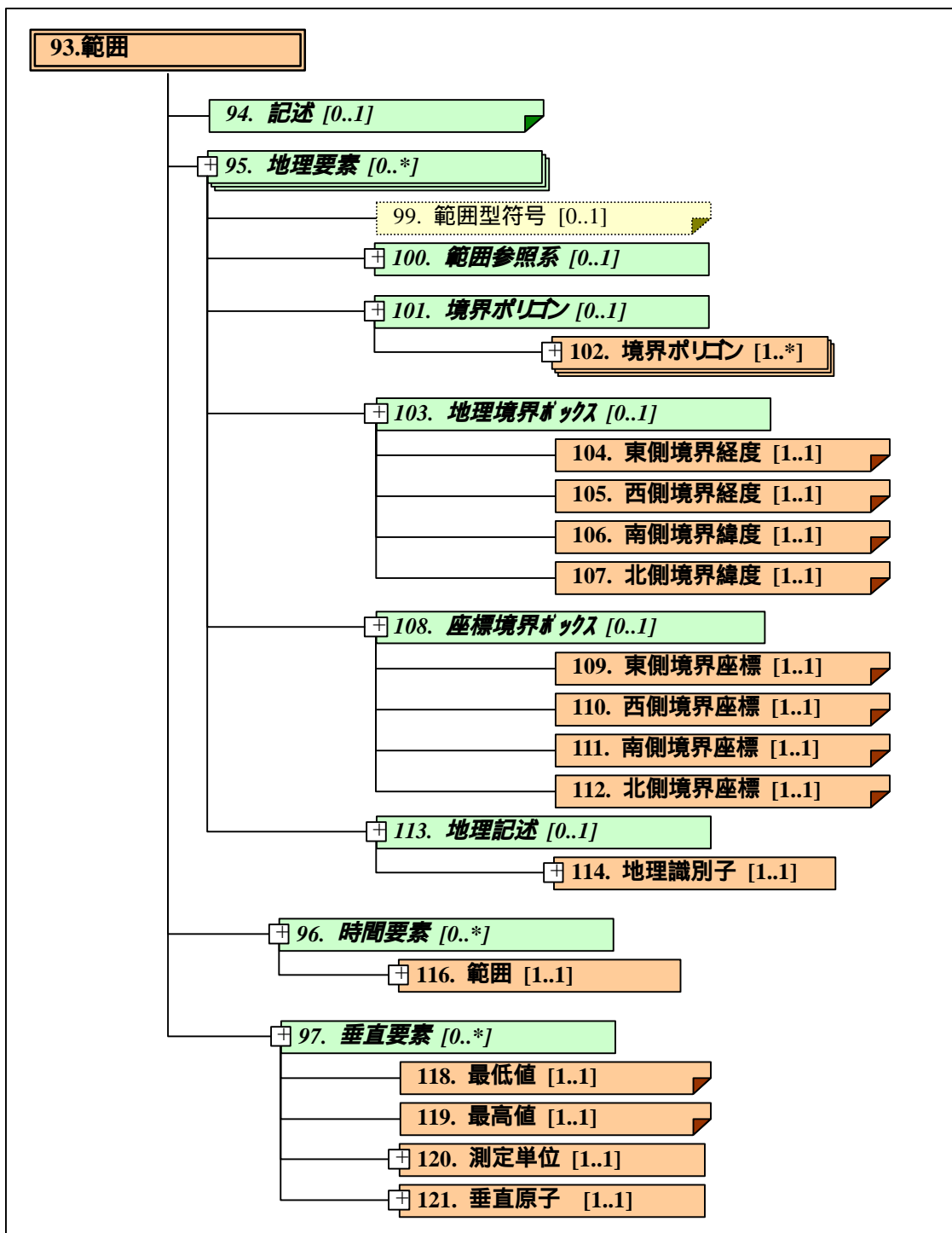


図 3-10 範囲情報の構成

### 3.7.2. 各要素の解説

以下に、範囲情報に含まれる各要素及び要素体の詳細を解説します。

#### 記述

94	要素名 (日本語)		記述
	要素名 (英語)		description
	記述条件		<b>条件付必須記述</b> ? 少なくとも [No.94 記述]   [No.95 地理要素]   [No.96 時間要素]   [No.97 垂直要素]のいずれか1つは必須
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説		データが参照する対象の範囲についての概要を記述します。地理要素や時間要素、地理要素を記述しない(あるいは、明確な記述ができない)場合は、ここで範囲を記述することができます。
記述例		“関東地方 1 都 6 県を含む領域。ただし、島しょは除く。” など。	

#### 地理要素

95	要素名 (日本語)		地理要素 要素体 (水平範囲)
	要素名 (英語)		geographicElement
	記述条件		<b>条件付必須記述</b> ? 少なくとも [No.94 記述]   [No.95 地理要素]   [No.96 時間要素]   [No.97 垂直要素]のいずれか1つは必須
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説		データの時空間的な範囲のうち、水平方向の範囲を記述します。水平範囲を記述する手段としては、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地理境界ボックス (東西南北の境界緯度経度)</li> <li>・座標境界ボックス (東西南北の境界座標)</li> <li>・境界ポリゴン (多角形の座標値)</li> <li>・地理識別子 (地名や地域の名称)</li> </ul> が用意されています。 地理要素は複数記述できますが、地理要素を一回記述することにより上記のいずれかを記述することになります。
記述例		以下の No.99 ~ No.114 の要素を含む要素体です。	

#### 範囲型符号

99	要素名 (日本語)		範囲型符号
	要素名 (英語)		extentTypeCode
	記述条件		<b>任意記述</b>
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説		データが、地理要素で表した領域の内側なのか外側なのかを示すコード (“0” or “1”)を記述します。省略した場合は、内側であるとみなされません。
記述例		“0” : 外側 “1” : 内側	

**範囲参照系**

100	要素名 (日本語)	範囲参照系 要素体	
	要素名 (英語)	extentReferenceSystem	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> 地理識別子以外の場合は必須 地理識別子の場合は記述しない	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	水平範囲を表現する座標に関する参照系情報や、地理識別子に関する情報を記述することができます。 座標値とともに記述される場合は、座標値が参照する測地原子と座標系の情報を記述します。 地理識別子を記述する際は、地理識別子 (主に地名など)を記述します。	
記述例	ここには、[3.5 参照系情報]の参照系識別子と同じ要素体が挿入されます。		

**境界ポリゴン**

101	要素名 (日本語)	境界ポリゴン 要素体	
	要素名 (英語)	BoundingPolygon	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> (No.95 地理要素)を記述する場合は )No.101 境界ポリゴン]、[No.103 地理境界ボックス]、[No.108 座標境界ボックス]、[No.113 地理記述]のいずれかは必須	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	データの範囲を多角形で表現したい場合は、境界ポリゴンを利用して記述することができます。	
記述例	上記No.99 ~ No.100 及び、以下のNo.102 の要素を含む要素体です。		

**境界ポリゴン**

102	要素名 (日本語)	境界ポリゴン 要素体	
	要素名 (英語)	polygon	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	*
	解説	ポリゴンは、データの範囲を多角形で表現したものです。そのため、多角形の各頂点の座標を記述します。	
記述例	多角形の各頂点の座標は、X1, Y1 X2,Y2 X3,Y3 X4,Y4 のように、各頂点の X 座標とY 座標をカンマ記号で分割し、各座標を半角スペースで分けて羅列します。多角形は 3 角形以上である必要があるため、頂点は少なくとも3 点以上必要になります。 例) 各頂点の座標が(10,10) (10,20) (20,30) (40,30)とい多角形を記述する場合 10,10 10,20 20,30 40,30		

**地理境界ボックス**

103	要素名 (日本語)	地理境界ボックス	要素体	
	要素名 (英語)	GeographicBoundingBox		
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> (No.95 地理要素]を記述する場合は )No.101 境界ポリゴン]、[No.103 地理境界ボックス]、[No.108 座標境界ボックス]、[No.113 地理記述]のいずれかは必須		
	記述回数	最小	0	
		最大	1	
	解説	東西南北の境界ボックスを境界緯度経度で記述することができます。		
記述例	上記 No.99 ~ No.100 及び、以下の No.104 ~ No.107 の要素を含む要素体です。			

**西側境界経度**

104	要素名 (日本語)	西側境界経度	
	要素名 (英語)	westBoundLongitude	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	データの最も西端の座標を経度で記述します。東経だと0度~180度、西経だと0度~-180度の間の値を記述します。単位は「度分秒」ではなく「度」で、実数の数値のみ記述します。	
記述例	"136.0724"		

**東側境界経度**

105	要素名 (日本語)	東側境界経度	
	要素名 (英語)	eastBoundLongitude	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	データの最も東端の座標を経度で記述します。東経だと0度~180度、西経だと0度~-180度の間の値を記述します。単位は「度分秒」ではなく「度」で、実数の数値のみ記述します。	
記述例	"153.9906"		

**南側境界緯度**

106	要素名 (日本語)	南側境界緯度	
	要素名 (英語)	southBoundLatitude	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	データの最も南端の座標を緯度で記述します。北緯だと0度~90度、南緯だと0度~-90度の間の値を記述します。単位は「度分秒」ではなく「度」で、実数の数値のみ記述します。	
記述例	"20.4204"		

**北側境界緯度**

107	要素名 (日本語)	北側境界緯度	
	要素名 (英語)	northBoundLatitude	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	データの最も北端の座標を緯度で記述します。北緯だと0度～90度、南緯だと0度～-90度の間の値を記述します。単位は「度分秒」ではなく「度」で、実数の数値のみ記述します。	
記述例	"35.8954"		

**座標境界ボックス**

108	要素名 (日本語)	座標境界ボックス 要素体	
	要素名 (英語)	CoordinateBoundingBox	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> (No.95 地理要素)を記述する場合は [No.101 境界ポリゴン]、[No.103 地理境界ボックス]、[No.108 座標境界ボックス]、[No.113 地理記述]のいずれかは必須	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	東西南北にあたる座標境界ボックスの X,Y 座標の最大値と最小値を記述することができます。	
記述例	上記 No.99 ~ No.100 及び、以下の No.109 ~ No.112 の要素を含む要素体です。		

**西側境界座標**

109	要素名 (日本語)	西側境界座標	
	要素名 (英語)	westBoundCoord	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	データの最も西端の座標を実数で記述します。	
記述例	"-1234.5678"		

**東側境界座標**

110	要素名 (日本語)	東側境界座標	
	要素名 (英語)	eastBoundCoord	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	データの最も東端の座標を実数で記述します。	
記述例	"9876.5432"		

**南側境界座標**

111	要素名 (日本語)	南側境界座標
	要素名 (英語)	southBoundCoord
	記述条件	<b>必須記述</b>

記述回数	最小	1
	最大	1
解説		データの最も南端の座標を実数で記述します。
記述例		“-2256.7985”

### 北側境界緯度

112	要素名 (日本語)		北側境界緯度
	要素名 (英語)		northBoundCoord
	記述条件		<b>必須記述</b>
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説		データの最も北端の座標を実数で記述します。
記述例		“5612.4961”	

### 地理記述

113	要素名 (日本語)		地理記述 要素体
	要素名 (英語)		geographicDescription
	記述条件		<b>条件付必須記述</b> (No.95 地理要素)を記述する場合は )No.101 境界ポリゴン)、 [No.103 地理境界ボックス]、 [No.108 座標境界ボックス]、 [No.113 地理記述]のいずれかは必須
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説		データの範囲を地理識別子 (地名や地域の名前)を使って記述することができます。
記述例		以下の No.114 の要素を含む要素体です。	

### 地理識別子

114	要素名 (日本語)		地理識別子 要素体
	要素名 (英語)		GeographicIdentifier
	記述条件		<b>必須記述</b>
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説		地理識別子を記述することができます。地理識別子とは、地名や特定の場所や地域、領域を示す名称のことです。
記述例		ここには、[3.5 参照系情報]の参照系識別子と同じ要素体が挿入されます。	

### 時間要素

96	要素名 (日本語)		時間要素 要素体
	要素名 (英語)		temporalExtent
	記述条件		<b>条件付必須記述</b> ? 少なくとも [No.94 記述]   [No.95 地理要素]   [No.96 時間要素]   [No.97 垂直要素]のいずれか1つは必須
	記述回数	最小	0
		最大	*



116	解説	データの時間範囲を記述します。 データの時間的な範囲とは、データ全体の内容が有効な期間です。たとえば、データに表現されている家屋と現状の家屋が異なるような場合があります。そのような場合は、データを作成した時点（データ作成や取得にかけた期間）が「データが有効な期間」と言えます。
	記述例	No.116 の要素を含む要素体です。

### 範囲

116	要素名 (日本語)	範囲 要素体	
	要素名 (英語)	extent	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	データの時間範囲を、期間の始まりと終わりの日付を用いて記述します。	
記述例	時間要素における範囲を記述する場合は、 ・ 期間の始まり ・ 期間の終わり という2つの必須要素を記述します。それぞれの要素は日付ですので、たとえば2001年4月1日から2002年3月31日の時間範囲を記述する場合は、 ・ 期間の始まり2001-04-01 ・ 期間の終わり2002-03-31 のようになります。		

### 垂直要素

97	要素名 (日本語)	垂直要素	
	要素名 (英語)	verticalElement	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> ? 少なくとも [No.94 記述]   [No.95 地理要素]   [No.96 時間要素]   [No.97 垂直要素]のいずれか1つは必須	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	データの垂直範囲を記述することができます。	
記述例	No.118 ~ No.121 を含む要素体です。		

### 最低値

118	要素名 (日本語)	最低値	
	要素名 (英語)	minimumValue	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	データの垂直範囲の最小値 (標高) を記述します。 単位は、[No.120 測定単位] で記述するものに従いますので、記述する際は、実数の数値のみを記述します。	
記述例	“0”, “-2”, “5” など。 単位は、[No.120 測定単位] で指定した単位に従うので、ここでは数値のみ記述します。		

### 最高値

119	要素名 (日本語)	最高値		
	要素名 (英語)	maximumValue		
	記述条件	必須記述		
	記述回数	最小	1	
		最大	1	
	解説	データの垂直範囲の最大値 (標高)を記述します。 単位は、[No.120 測定単位]で記述するものに従いますので、記述する際は、実数の数値のみを記述します。		
記述例	“50”, “100” など。 単位は、[No.120 測定単位]で指定した単位に従うので、ここでは数値のみ記述します。			

### 測定単位

120	要素名 (日本語)	測定単位 要素体		
	要素名 (英語)	unitOfMeasure		
	記述条件	必須記述		
	記述回数	最小	1	
		最大	1	
	解説	垂直範囲の最大値、最小値を記述するための単位を記述します。		
記述例	単位の記述には、UnitOfMeasure を用います。 UnitOfMeasure は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単位の名称 (必須記述)</li> <li>・ 単位の種類 (任意記述)</li> </ul> という2つの要素から構成されますので、ここでは <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単位の名称 meter</li> <li>・ 単位の種類 height</li> </ul> というような記述になります。			

### 垂直原子

121	要素名 (日本語)	垂直原子 要素体		
	要素名 (英語)	verticalDatum		
	記述条件	必須記述		
	記述回数	最小	1	
		最大	1	
	解説	“東京湾平均海面”などの、垂直方向の測地原子の識別子を記述します。		
記述例	ここには、[3.5 参照系情報]の参照系識別子と同じ要素体が挿入されます。			

### 3.8. 引用情報

#### 3.8.1. 要素体と要素の構成

以下に、引用情報に含まれる要素と要素体の構成図を示します。

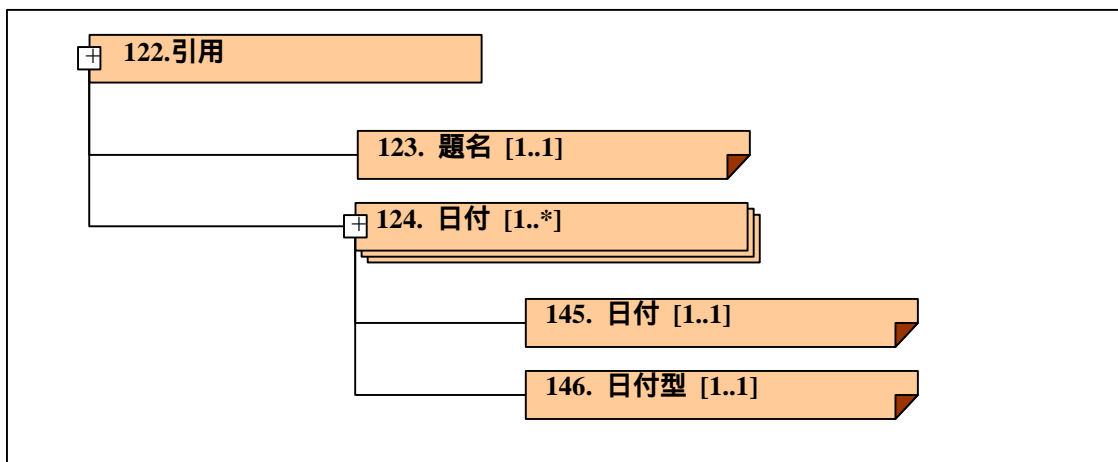


図 3-11 引用情報の構成

#### 3.8.2. 各要素の解説

以下に、引用情報に含まれる各要素及び要素体の詳細を解説します。

##### 題名

123	要素名 (日本語)	題名	
	要素名 (英語)	title	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	引用情報における、文書や資料の題名を記述します。 文書や資料とは、引用情報が記述される場面において、空間参照系を規定した文書であったり、地名集であったり、品質評価のための仕様書であったりします。	
記述例	“ 地名集” など (空間参照系を規定した文書の例) “ 製品仕様書” など (品質評価の仕様を規定した文書の例)		

##### 日付

124	要素名 (日本語)	日付 要素体	
	要素名 (英語)	date	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	*
	解説	[No.123 題名]に記述した文書や資料等に関する日付の情報を記述します。 [No.145 日付]で公式に有効になった日付を、[No.146 日付型]でその日付型を記述します。 この要素体は、複数記述することができます。	
記述例	No.145 ~ No.146 を含む要素体です。		

日付

145	要素名 (日本語)	日付	
	要素名 (英語)	date	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	[No.123 題名]に記述した文書等が、公式に有効になった日付を記述します。	
記述例	“2002-04-01” 上記例は、[No.123 題名]で記述された文書や資料が、2002 年 4 月 1 日に有効になったことを意味します。		

日付型

146	要素名 (日本語)	日付型	
	要素名 (英語)	dateType	
	記述条件	<b>必須記述</b>	
	記述回数	最小	1
		最大	1
	解説	[No.123 題名]に記述した文書等が、公式に有効になった[No.145 日付]の日付型を記述します。 日付型とは、 ・作成された日付 (作成日) ・発行された日付 (発行日) ・改訂された日付 (改訂日) のいずれかです。コードリスト4.3 日付型コードからの選択となります。	
記述例	コードリスト4.3 日付型コードから1つ選択します。 たとえば、“改定日”であれば“003”というコードを記述することになります。		

### 3.9. 責任者情報

#### 3.9.1. 要素体と要素の構成

以下に、責任者情報に含まれる要素と要素体の構成図を示します。

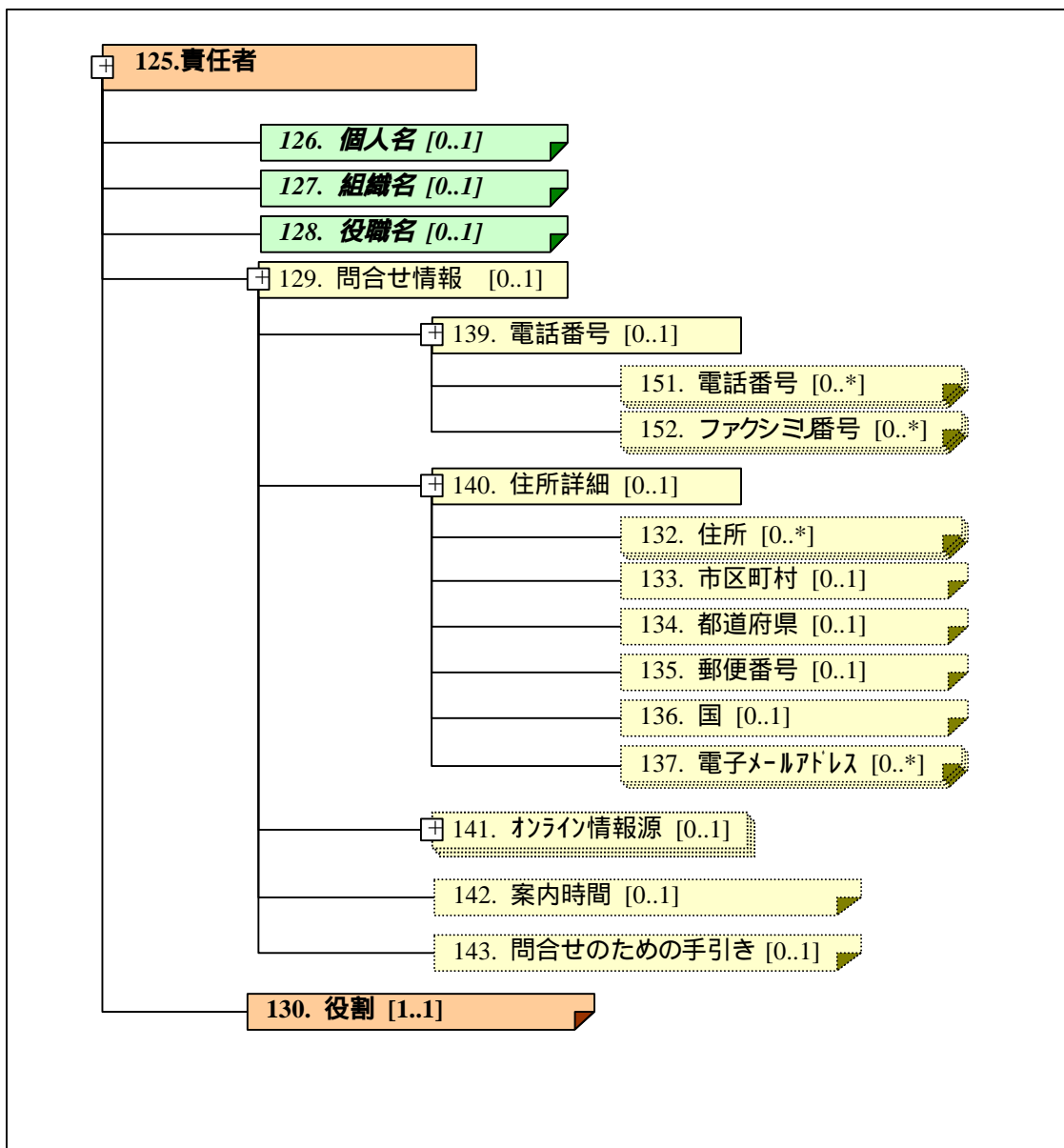


図 3-12 責任者情報の構成

### 3.9.2. 各要素の解説

以下に、責任者情報に含まれる各要素及び要素体の詳細を解説します。

#### 個人名

126	要素名 (日本語)	個人名	
	要素名 (英語)	individualName	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> 個人名   組織名   役職名 のいずれか一つは必須記述	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	データに対し、責任のある問合せ先の個人名を記述できます。	
記述例	“地図太郎”		

#### 組織名

127	要素名 (日本語)	組織名	
	要素名 (英語)	organisationName	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> 個人名   組織名   役職名 のいずれか一つは必須記述	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	データに対し、責任のある問合せ先の組織名を記述できます。	
記述例	“国土交通省国土地理院”		

#### 役職名

128	要素名 (日本語)	役職名	
	要素名 (英語)	positionName	
	記述条件	<b>条件付必須記述</b> 個人名   組織名   役職名 のいずれか一つは必須記述	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	データに対し、責任のある問合せ先の役職名を記述できます。	
記述例	“メタデータ係長”		

#### 問合せ情報

129	要素名 (日本語)	問合せ情報 要素体	
	要素名 (英語)	contactInfo	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	住所や電話番号等の、問合せ先の情報を記述することができます。	
記述例	以下の No.139 ~ No.143 を包含する要素体です。		

#### 役割

130	要素名 (日本語)	役割
	要素名 (英語)	role
	記述条件	<b>必須記述</b>

記述回数	最小	1
	最大	1
解説		問合せ先の個人や組織の持つ役割を記述します。記述する際には、別途用意されているコードリスト4.10 役割コードからの選択とします。
記述例		“配布者” の場合は該当するコード “005” を, “創作者” の場合は該当するコード “006” を記述します。

### 電話番号

139	要素名 (日本語)		電話番号 要素体 (電話番号)
	要素名 (英語)		phone
	記述条件		任意記述
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説		問合せ先の電話番号や FAX 番号を記述できます。
記述例		No.151 ~ No.152 を含む要素体です。	

### 電話番号

151	要素名 (日本語)		電話番号
	要素名 (英語)		voice
	記述条件		任意記述
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説		問い合わせ先の電話番号を記述します。 この要素は、複数回記述できます。
記述例		029-864-1111	

### ファクシミリ番号

152	要素名 (日本語)		ファクシミリ番号
	要素名 (英語)		facsimile
	記述条件		任意記述
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説		問い合わせ先の FAX 番号を記述します。 この要素は、複数回記述できます。
記述例		029-864-1111	

### 住所

140	要素名 (日本語)		住所 要素体 (住所)
	要素名 (英語)		address
	記述条件		任意記述
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説		問合せ先の住所を記述できます。
記述例		No.132 ~ No.137 を含む要素体です。	

## 住所詳細

132	要素名 (日本語)	住所詳細	
	要素名 (英語)	deliveryPoint	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	問合せ先住所の所在地を記述します。 この要素は、複数記述することができます。	
記述例	“北郷 1 番”		

## 市区町村

133	要素名 (日本語)	市区町村	
	要素名 (英語)	city	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	問い合わせ先住所の市区町村を記述します。	
記述例	“つくば市”		

## 都道府県名

134	要素名 (日本語)	都道府県名	
	要素名 (英語)	administrativeArea	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	問い合わせ先住所の都道府県名を記述します。	
記述例	“茨城県”		

## 郵便番号

135	要素名 (日本語)	郵便番号	
	要素名 (英語)	postalCode	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	問合せ先住所の 7 桁の郵便番号を記述します。通常の郵便番号と同じく、3 桁と 4 桁の数字をハイフン ”-“ 記号で接続します。すべて半角です。	
記述例	“305-0811”		

## 国

136	要素名 (日本語)	国	
	要素名 (英語)	country	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	1



解説	問合せ先住所の国名を記述します。記述する際は、ISO3166-3 に従ったアルファベット3文字表記法を利用します。
記述例	“jpn” 日本の場合は、上記のように“jpn”と記述します。

### 電子メールアドレス

137	要素名 (日本語)	電子メールアドレス	
	要素名 (英語)	electronicMailAddress	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	*
	解説	問合せ先の電子メールアドレスを記述します。すべての文字は半角で記述してください。 この要素は、複数記述できます。	
記述例	“info@gsi.go.jp”		

### オンライン情報資源

141	要素名 (日本語)	オンライン情報資源 要素体	
	要素名 (英語)	onlineResource	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	インターネットの URL のような、オンライン上の情報を記述できます。複数回記述可能な要素体です。	
記述例	ここでは、[3.10 オンライン情報資源]要素体が挿入されます。		

### 案内時間

142	要素名 (日本語)	案内時間	
	要素名 (英語)	hoursOfService	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	問合せ先の個人や組織が、問合せに応じることの可能な時間帯を記述することができます。記述形式は自由です。	
記述例	“問合せ対応時間は、平日 10:00～17:00 です。土、日、祝日はお休みです。”		

### 問合せのための手引き

143	要素名 (日本語)	問合せのための手引き	
	要素名 (英語)	contactInstructions	
	記述条件	任意記述	
	記述回数	最小	0
		最大	1
	解説	問合せ先に問い合わせる場合の補足情報を記述することができます。記述形式は自由です。	
記述例	“基本的には、電子メール、FAX での対応となります。”		

### 3.10. オンライン情報資源

#### 3.10.1. 要素体と要素の構成

以下に、オンライン情報資源に含まれる要素と要素体の構成図を示します。

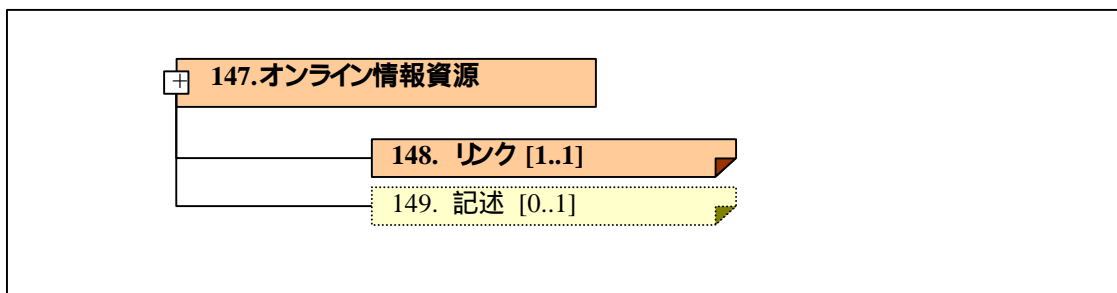


図 3-13 オンライン情報資源の構成

#### 3.10.2. 各要素の解説

以下に、オンライン情報資源に含まれる各要素及び要素体の詳細を解説します。

##### リンク

148	要素名 (日本語)	リンク		
	要素名 (英語)	linkage		
	記述条件	必須記述		
	記述回数	最小	1	
		最大	1	
	解説	何らかの情報を提供しているオンライン上の情報資源 (URL など)を記述します。		
記述例	“http://www.gsi.go.jp”			

##### 記述

149	要素名 (日本語)	記述		
	要素名 (英語)	description		
	記述条件	任意記述		
	記述回数	最小	0	
		最大	1	
	解説	オンライン情報資源が何かを説明するための情報を記述することができます。		
記述例	“国土地理院 Web サイト内にある、クリアリングハウス及びメタデータの説明ページ”			

## 4. コードリスト一覧

以下に、JMP2.0 で利用するコードリストの一覧を示します。メタデータを整備する場合は、このコードリストを参照し、メタデータには“001”、“002”のようなコードを記述します。

### 4.1. 文字コード [MD\_CharacterSetCode <<CodeList>>]

コード名	コード	定義域
ucs2	001	ISO 10646 に基づく16 ビット固定長の国際的な文字集合
ucs4	002	ISO 10646 に基づく32 ビット固定長の国際的な文字集合
utf7	003	ISO 10646 に基づく7 ビット可変長の UCS 転送形式
utf8	004	ISO 10646 に基づく8 ビット可変長の UCS 転送形式
utf16	005	ISO 10646 に基づく16 ビット可変長の UCS 転送形式
8859part1	006	Latin-1 ,西ヨーロッパの符号集合
8859part2	007	Latin-2 ,中央ヨーロッパの符号集合
8859part3	008	Latin-3 ,南ヨーロッパの符号集合
8859part4	009	Latin-4 ,北ヨーロッパの符号集合
8859part5	010	キリル文字の符号集合
8859part6	011	アラビア文字の符号集合
8859part7	012	ギリジャ文字の符号集合
8859part8	013	ヘブライ文字の符号集合
8859part9	014	Latin-5 ,トルコ語の符号集合
8859part10	015	Latin-6 の符号集合
8859part11	016	タイ文字の符号集合
(reserved for future use)	017	将来、8859part12 が規格化された際に使用
8859part13	018	Latin-7 の符号集合
8859part14	019	Latin-8 の符号集合
8859part15	020	Latin-9 の符号集合
8859part16	021	Latin-10 の符号集合
jis	022	電子伝送のために使われる日本文字の符号集合
shiftJIS	023	MS-DOS マシンに使われる日本文字の符号集合
eucJP	024	UNIX マシンに使われる日本文字の符号集合
usAscii	025	アメリカ合衆国の ASCII 符号集合 (ISO 646 US )
ebedic	026	IBM メインフレームの符号集合
eucKR	027	ハングル文字の符号集合
big5	028	台湾文字の符号集合
GB2312	029	簡体中国文字の文字集合

#### 4.2. 適用範囲コード [MD\_ScopeCode <<CodeList>>]

コード名 (日本語)	コード名 (英語)	コード	定義域
属性	attribute	001	属性クラスに適用される情報
属性型	attributeType	002	地物特性に適用される情報
収集用機器	collectionHardware	003	収集用機器クラスに適用される情報
収集作業	collectionSession	004	収集作業に適用される情報
データ集合	dataset	005	データ集合に適用される情報
シリーズ	series	006	シリーズに適用される情報
非地理データ	nonGeographicDataset	007	非地理データに適用される情報
次元グループ	dimensionGroup	008	次元グループに適用される情報
地物	feature	009	地物に適用される情報
地物型	featureType	010	地物型に適用される情報
特質の型	propertyType	011	特質の型に適用される情報
現場作業	fieldSession	012	現場作業に適用される情報
ソフトウェア	software	013	コンピュータプログラム,又は,ルーチンに適用される情報
サービス	service	014	ユースケースのように,振る舞いを定義するインタフェースの集合を通じてサービス利用者にサービスを可能にする,サービス供給者の能力の説明に適用される情報
モデル	model	015	現存する若しくは,仮定的なオブジェクトのコピー又は,模倣品に適用される情報
タイル	tile	016	地理データの空間的なサブセットに適用される情報

#### 4.3. 日付型コード [CI\_DateTypeCode <<CodeList>>]

コード名 (日本語)	コード名 (英語)	コード	定義域
作成日	creation	001	情報資源が作成された日付を示す識別情報
刊行日	publication	002	情報資源が発表された日付を示す識別情報
改訂日	revision	003	情報資源が,調査又は再調査及び改訂又は補足された日付を示す識別情報

#### 4.4. 進捗コード MD\_ProgressCode <<CodeList>>]

コード名 (日本語)	コード名 (英語)	コード	定義域
完成	completed	001	データの収集は終了している。
古文書	historicalArchive	002	データは,オフラインの記憶機能に格納されている。
廃棄	obsolete	003	データは,もはや有効ではない。
進行中	onGoing	004	データは,頻繁に更新されつつある。
計画済み	planned	005	データの作成あるいは更新が行われる期日が確定されている。
要求中	required	006	データは生成,又は更新が必要とされている。
作業中	underdevelopment	007	現在データは,作成されている途中である。

4.5. キーワードタイプコード [MD\_KeywordTypeCode <<CodeList>>]

コード名 (日本語)	コード名 (英語)	コード	定義域
学問分野	discipline	001	教育分野あるいは特殊な学習分野を識別するキーワード
場所	place	002	場所を識別するキーワード
層	stratum	003	様々な物質が置かれた層を識別するキーワード
時間	temporal	004	データ集合に関連する期間を識別するキーワード
主題	Theme	005	特定の主題や論題を識別するキーワード

4.6. 空間表現型コード [MD\_SpatialRepresentationTypeCode <<CodeList>>]

コード名 (日本語)	コード名 (英語)	コード	定義域
ベクトル	vector	001	ベクトルデータが、地理データを表現するために使われている。
グリッド	grid	002	グリッドデータが、地理データを表現するために使われている。
テキスト表形式	textTable	003	テキスト、又は表形式のデータが、地理的データを表現するために使われている。
不規則三角形ネットワーク	tin	004	三角形から成る不規則なネットワーク
ステレオモデル	stereoModel	005	重複させた一対の画像上で交わって一致する光線によって形成された3次元の像
ビデオ	video	006	ビデオ録画による場面

4.7. 主題コード [MD\_TopicCategoryCode <<Enumeration>>]

コード名 (日本語)	コード名 (英語)	コード	定義域
農業	farming	001	家畜の飼育及び/又は作物の栽培 例 “農業”“灌漑”“水産養殖”“集合プランテーション”“作物及び家畜に影響を及ぼす病気及び害虫”
生物相	biota	002	自然環境における植物相及び/又は動物相 例 “野生生物”“植物”“生物学的な科学”“生態学”“荒野”“海洋生物”“湿地帯”“生息地”
境界	boundaries	003	法律上の土地の境の記述 例 政治的な及び行政上の境界
気象	climatologyMeteorologyAtmosphere	004	大気的作用及び現象 例 “雲量”“天候”“気候”“大気の状態”“気候変化”“降水量”
経済	economy	005	経済の活動、状態及び雇用 例 “生産”“労働”“収入”“商業”“産業”“観光旅行及びエコツーリスト”“林業”“水産業”“貿易”“生存のための狩猟”“鉱物、石油及び天然ガスのような資源の調査及び、開発”

コード名 (日本語)	コード名 (英語)	コード	定義域
高さ	elevation	006	海面から上の、又は下の高さ例 ”高度”“水深測量”“デジタル標高モデル”“斜面”“これらから派生した製品”
環境	environment	007	環境資源、環境保護及び、環境保存 例 ”環境汚染”“廃棄物の保管及び、処理”“環境影響評価”“環境上への危険の監視”“自然保護地”“風景”
地球科学の情報	geoscientificInformation	008	地球科学と関係がある情報 例 ”地球物理学的地物とプロセス”“地質学”“鉱物資源”“組成学”“岩盤組成と起源”“地震の危機”“火山活動”“地滑り”“重力情報”“土壌”“永久凍土”“水理地質学”“浸食”
健康	health	009	健康、保健サービス、人間生態学及び、安全 例 ”病気と疾病”“健康に影響を及ぼす原因”“衛生学”“薬物乱用”“精神的及び物理的な健康”“保険サービス”
全地球基本地図画像	imageryBaseMapsEarthCover	010	基本図 例 ”土地カバー”“地形学の地図”“画像”“分類されていないイメージ”“注釈”
軍事情報	intelligenceMilitary	011	軍事基地、軍用構造物、軍事活動 例 ”兵舎”“訓練施設”“軍事輸送”“情報収集”
陸水	inlandWaters	012	陸水地物、下水システム及び、それらの特性 例 ”河川と氷河”“塩湖”“水利用計画”“ダム”“水流”“水害”“水質”“水理地質学の水路図”
位置	location	013	位置情報及び、サービス
大洋	oceans	014	塩水の地物及び、特性 (陸水を除く) 例 ”潮流”“津波”“海岸の情報”“礁”
土地台帳計画	planningCadastral	015	将来的な土地利用のための適切な活動に使用される情報 例 ”土地利用図”“建築規制図”“地籍調査”“土地所有”
社会	society	016	社会及び、文化の特性 例 ”居住地”“人類学”“考古学”“教育”“伝統的な信仰”“作法と習慣”“人口統計データ”“レクリエーションの場所と活動”“社会影響の評価”“犯罪と司法”“国勢調査情報”
構造物	structure	017	人工構造物 例 ”ビルディング”“博物館”“教会”“工場”“家”“記念碑”“店”“塔”
運輸	transportation	018	人及び/又は物を運ぶための方法及び、仕組み 例 ”道路”“空港/滑走路”“輸送路”“トンネル”“船の航路図”“乗物、又は船の位置測定”“飛行機の航路図”“鉄道”

コード名 (日本語)	コード名 (英語)	コード	定義域
公共事業 通信	utilitiesCommunication	019	エネルギー, 上下水道, 並びに通信インフラ及び, サービス 例 ” 水力発電” “地熱発電” “太陽及び原子力” “水質浄化と配水” “污水収集と処理” “電気とガスの供給” “データ通信” “遠距離通信” “ラジオ” “通信ネットワーク”

#### 4.8. 配布媒体コード [MD\_MediumNameCode <<CodeList>> ]

コード名 (日本語)	コード名 (英語)	コード	定義域
CD-ROM	cdRom	001	読み取り専用の光ディスク
DVD	dvd	002	デジタル多用途ディスク
DVD-ROM	dvdRom	003	読み取り専用のデジタル多用途ディスク
3.5 インチ FD	3halfInchFloppy	004	3.5 インチ磁気ディスク
5.25 インチ FD	5quarterInchFloppy	005	5.25 インチ磁気ディスク
7 トラック磁気テープ	7trackTape	006	7 トラック磁気テープ
9 トラック磁気テープ	9trackTape	007	9 トラック磁気テープ
3480 のカセットテープドライブ	3480Cartridge	008	3480 のカセットテープドライブ
3490 のカセットテープドライブ	3490Cartridge	009	3490 のカセットテープドライブ
3580 のカセットテープドライブ	3580Cartridge	010	3580 のカセットテープドライブ
4 ミリ磁気テープ	4mmCartridgeTape	011	4 ミリ磁気テープ
8 ミリ磁気テープ	8mmCartridgeTape	012	8 ミリ磁気テープ
0.25 インチ磁気テープ	1quarterInchCartridgeTape	013	0.25 インチ磁気テープ
半インチカートリッジストリームテープドライブ	digitalLinearTape	014	半インチカートリッジストリームテープドライブ
オンライン	onLine	015	直接的なコンピュータとのつながり
衛星通信	satellite	016	衛星通信システムによるつながり
電話回線	telephoneLink	017	電話網による通信
非デジタル媒体	hardcopy	018	記述的情報を与えるパンフレット又は, ちらし
MO	MO	019	MO



## 4.9. データ品質要素型コード [DQ\_TypeOfQualityEvaluationCode &lt;&lt;CodeList&gt;&gt;]

コード名 (日本語)	コード名 (英語)	コード	定義域
完全性 /過剰	completenessCom mission	001	適用範囲によって記述される、データ集合中の過剰なデータの存在
完全性 /漏れ	completenessO mission	002	適用範囲によって記述される、データ集合からのデータの欠如
論理一貫性 /概念一貫性	conceptualConsi stency	003	概念スキーマの規則に対する厳守の度合い
論理一貫性 /定義域一貫性	domainConsiste ncy	004	値の定義域に対する値の厳守の度合い
論理一貫性 /書式一貫性	formatConsisten cy	005	データが、適用範囲に記述されていると おりのデータ集合の物理的構造に従って格 納されているかの度合い
論理一貫性 /位相一貫性	topologicalCons istency	006	適用範囲によって記述されたデータ集合 の、明示的に符号化された位相的特性の 正確性
位置正確度 /絶対正確度又は外 部正確度	absoluteExternal PositionalAccur acy	007	地物位置の正確度
位置正確度 /グリッドデータ位置正 確度	griddedDataPosi tionalAccuracy	008	グリッドデータ位置の、真値又は真値とみ なされた値に対する近接度
位置正確度 /相対正確度又は内 部正確度	reletiveInternalP ositionalAccurac y	009	適用範囲内の地物の相対位置の、真値又 は真値とみなされた相対位置に対する近 接度
時間正確度 /時間測定正確度	accuracyOfATi meMeasurement	010	地物の時間属性及び時間関係の正確度
時間正確度 /時間一貫性	temporalConsist ency	011	項目 (時間測定の誤差報告)の時間参照 の正確性
時間正確度 /時間妥当性	temporalValidit y	012	時間に関する適用範囲によって規定され たデータの妥当性
分類正確度 /分類の正しさ	thematicClassifi cationCorrectnes s	013	定量的属性の正確度、並びに非定量的属 性並びに地物及びその関係の分類の正確 性
分類正確度 /非定量的属性の正し さ	nonQuantitative AttributeAccura cy	014	非定量的属性の正確性
分類正確度 /定量的属性の正確 度	quantitativeAttri buteAccuracy	015	定量的属性の正確度



#### 4.10. 役割コード [CI\_RoleCode <<CodeList>>]

コード名 (日本語)	コード名 (英語)	コード	定義域
情報資源提供者	resourceProvider	001	情報資源を供給する団体
管理者	custodian	002	情報資源の適切な管理, 保守を保証し, データのために説明責任, 管理責任を負う団体
所有者	owner	003	情報資源を所有している団体
利用者	user	004	情報資源を使用する団体
配布者	distributor	005	情報資源を配布する団体
創作者	originator	006	情報資源を作成した団体
問合せ先	pointOfContact	007	情報資源を得るため, 又はその知識を得るための問合せを可能とする団体
主要な調査担当者	principalInvestigator	008	情報を集め, 研究の指揮をとる主要な団体
処理担当者	processor	009	情報資源を修正して, データを処理した団体
刊行者	publisher	010	情報資源を刊行した団体
著作者	author	011	情報資源を著作した団体

#### 4.11. データ要素一覧

JMP2.0の要素及び要素体の一覧、さらに詳しい情報は、『JMP2.0仕様書』のデータ辞書を参照ください。

## 5. 付録

### 5.1. 座標参照系の識別子の表記法

#### 5.1.1. 座標による参照系識別子の記述ルール

参照系識別子 (referenceSystemIdentifier) がもつ属性である符号 (code) において、日本で使われている座標参照系を指定するときは、

[原子] + [半角スペース] + [半角スラッシュ (/)] + [半角スペース] + [座標系]

という記述ルールにしたがって記述しなければなりません。原子と座標系は、表 5-1 JMP2.0 における原子と座標系の略語に示すとおり略称を使います。

複数の略称を使用する場合は、” ” (カンマと半角スペース) によってこれを区切って記述します。下表に規定されていない座標参照系を指定する場合には、必ず典拠 (authority) を記述しなければなりません。

表 5-1 JMP2.0 における原子と座標系の略語

原子 [Datum]		略称
測地原子 [Geodetic Datum]	日本測地系 2000 [Japanese Geodetic Datum 2000]	<b>JGD2000</b>
	日本測地系 [Tokyo Datum]	<b>TD</b>
	World Geodetic System 1984	<b>WGS 84</b>
鉛直原子 [Vertical Datum]	東京湾平均海面 [Mean Sea Level of Tokyo Wan]	<b>TP</b>

座標系 (Coordinate System)		略称
地理座標系 [Geographic Coordinate System]	測地座標系 [Geodetic Coordinate System]	<b>(B, L)</b> 三次元のときは、 <b>(B, L, h)</b>
	平面直角座標系 2001 [Plane Rectangular Coordinate System 2001]	<b>Zone No. (X, Y)</b>
	平面直角座標系 1968 [Plane Rectangular Coordinate System 1968]	<b>Zone No. (X, Y)</b>
	UTM 座標系 [Universal Transverse Mercator Coordinate System]	<b>Zone No. (E, N)</b>
鉛直座標系 [Vertical Coordinate System]	鉛直原子となる平均海面からの高さ [Height above the Mean Sea Level of Tokyo Wan]	<b>H</b>
	楕円体高 [Ellipsoidal Height]	<b>h</b>
三次元座標系 [Three Dimensional Coordinate System]	地心直交座標系 [Geocentric Coordinate System]	<b>(X, Y, Z)</b>
	三次元直交座標系 [Three dimensional Cartesian Coordinate System]	<b>(X, Y, Z)</b>

地理情報標準第二版 IX メタデータ 付属書 M (規定)より抜粋

原子や座標系については、地理情報標準第二版 V 座標による空間参照」に、より詳しい解説があります。

平面直角座標系及び UTM 座標系における Zone No.には、それぞれの直角座標系が定めるゾーン番号が挿入されます。平面直角座標系であれば、[1~19]の数値、UTM 座標系であれば、[1~60]の数値になります。詳しくは、地理情報標準第二版 IX メタデータ 付属書 M (規定)」あるいは地理情報標準第二版 V 座標による空間参照」を参照ください。

### 5.1.2. 記述例

ここでは、実際の記述例をいくつか示します。

#### 例1

測地原子として“日本測地系 2000”を用い，“平面直角座標系第 III 系”で座標を記述しているときは、

測地原子：日本測地系 2000                      測地原子略称：JGD2000

座標系：平面直角座標系第 III 系              座標系略称：3 (X, Y)

となるので、その略称は

JGD2000 / 3 (X, Y)

となります。

#### 例2

例1 の例に、さらに高さのデータも含み、これが“東京湾平均海面上の高さ”のとき、

鉛直原子：東京湾平均海面                      鉛直原子略称：TP

鉛直座標系：平均海面からの高さ              鉛直座標系略称：H

となるので、その略称は

JGD2000, TP / 3 (X, Y), H

となります。

#### 例3

“UTM 座標系”を利用する場合、例えば、測地原子として“日本測地系 2000”を用い，“UTM 座標系のゾーン 53”で座標を記述しているとき、

測地原子：日本測地系 2000                      測地原子略称：JGD2000

座標系：UTM 座標系のゾーン 53              座標系略称：53 (E, N)

となるので、その略称は

JGD2000 / 53 (E, N)

となります。

#### 例4

高さだけに関する座標参照系識別子も、同様のルールで記述できます。水準測量に“東京湾平均海面上の高さ”を利用した場合、

鉛直原子：東京湾平均海面                      鉛直原子略称：TP

鉛直座標系：平均海面からの高さ              鉛直座標系略称：H

となりますので、座標参照系は

TP / H

と表記されます。

## 5.2. 実装例

以下に、JMP2.0 の実装例として、数値地図 25000 (空間データ基盤) のメタデータを示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<MD_Metadata xsi:schemaLocation="http://zgate.gsi.go.jp/ch/jmp/
http://zgate.gsi.go.jp/ch/jmp/JMP20.xsd" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xmlns="http://zgate.gsi.go.jp/ch/jmp/" xmlns:jmp20="http://zgate.gsi.go.jp/ch/jmp/">
  <identificationInfo>
    <MD_DataIdentification>
      <citation>
        <title>数値地図 25000 (空間データ基盤) 茨城 J</title>
        <date>
          <date>2002-12-01</date>
          <dateType>002</dateType>
        </date>
      </citation>
      <abstract>数値地図 25000 (空間データ基盤) は、2万 5千分 1地形図に相当する精度を持つ、国
土全体を覆う最大縮尺の GIS 基盤情報です。本データは、空中写真を用いて実際に測量し、現地測量
を行って作成したデータで、道路中心線、鉄道中心線、河川中心線、水涯線、海岸線、行政区、基準
点、地名、公共施設、標高の 10 項目で構成されています。これらのデータは、地理情報システム (GIS)
での利用を想定したデータとなっており、公共機関の計画、学校教育、民間地図の基礎等に利用され
ています。</abstract>
      <purpose>基本測量長期計画に基づく基本測量</purpose>
      <status>001</status>
      <pointOfContact>
        <organisationName>国土交通省国土地理院</organisationName>
        <contactInfo>
          <phone>
            <voice>029-864-1111</voice>
          </phone>
          <address>
            <deliveryPoint>北郷一番</deliveryPoint>
            <city>つくば市</city>
            <administrativeArea>茨城県</administrativeArea>
            <postalCode>305-0811</postalCode>
            <country>jpn</country>
            <electronicMailAddress>vector@gsi.go.jp</electronicMailAddress>
          </address>
          <onlineResource>
            <linkage>http://www.gsi.go.jp/GSI/CONTACT / metadata .html</linkage>
          </onlineResource>
        </contactInfo>
        <role>006</role>
      </pointOfContact>
      <pointOfContact>
        <organisationName>国土交通省国土地理院</organisationName>
        <contactInfo>
          <phone>
            <voice>029-864-1111</voice>
          </phone>
          <address>
            <deliveryPoint>北郷一番</deliveryPoint>
            <city>つくば市</city>
```

```

    <administrativeArea>茨城県</administrativeArea>
    <postalCode>305-0811</postalCode>
    <country>jpn</country>
    <electronicMailAddress>vector@gsi.go.jp</electronicMailAddress>
  </address>
  <onlineResource>
    <linkage>http://www.gsi.go.jp/GSI/CONTACT / metadata .html</linkage>
  </onlineResource>
</contactInfo>
<role>010</role>
</pointOfContact>
<pointOfContact>
  <organisationName>国土交通省国土地理院</organisationName>
  <contactInfo>
    <phone>
      <voice>029-864-1111</voice>
    </phone>
    <address>
      <deliveryPoint>北郷一番</deliveryPoint>
      <city>つくば市</city>
      <administrativeArea>茨城県</administrativeArea>
      <postalCode>305-0811</postalCode>
      <country>jpn</country>
      <electronicMailAddress>vector@gsi.go.jp</electronicMailAddress>
    </address>
    <onlineResource>
      <linkage>http://www.gsi.go.jp/GSI/CONTACT / metadata .html</linkage>
    </onlineResource>
  </contactInfo>
  <role>002</role>
</pointOfContact>
<pointOfContact>
  <organisationName>国土交通省国土地理院</organisationName>
  <contactInfo>
    <phone>
      <voice>029-864-1111</voice>
    </phone>
    <address>
      <deliveryPoint>北郷一番</deliveryPoint>
      <city>つくば市</city>
      <administrativeArea>茨城県</administrativeArea>
      <postalCode>305-0811</postalCode>
      <country>jpn</country>
      <electronicMailAddress>vector@gsi.go.jp</electronicMailAddress>
    </address>
    <onlineResource>
      <linkage>http://www.gsi.go.jp/GSI/CONTACT / metadata .html</linkage>
    </onlineResource>
  </contactInfo>
  <role>007</role>
</pointOfContact>
<pointOfContact>
  <organisationName> (財) 日本地図センター </organisationName>
  <contactInfo>

```

```

<phone>
  <voice>03-3485-5414</voice>
</phone>
<address>
  <deliveryPoint>青葉台 4-9-6</deliveryPoint>
  <city>目黒区</city>
  <administrativeArea>東京都</administrativeArea>
  <postalCode>153-8522</postalCode>
  <country>jpn</country>
  <electronicMailAddress>maps@jmc.or.jp</electronicMailAddress>
</address>
<onlineResource>
  <linkage>http://www.jmc.or.jp</linkage>
</onlineResource>
</contactInfo>
<role>005</role>
</pointOfContact>
<resourceConstraints>
  <MD_Constraints>
    <useLimitation>なし。ただし、国土地理院刊行の数値地図の一部又は全部を複製又は測
    量に使用する場合には、測量法の規定に基づき国土交通省国土地理院長の承認が必要です。
  </useLimitation>
  </MD_Constraints>
</resourceConstraints>
<descriptiveKeywords>
  <MD_Keywords>
    <keyword>GIS 基盤情報</keyword>
    <keyword>空間データ基盤</keyword>
    <type>005</type>
  </MD_Keywords>
  <MD_Keywords>
    <keyword>茨城県</keyword>
    <type>002</type>
  </MD_Keywords>
  <MD_Keywords>
    <keyword>道路</keyword>
    <keyword>鉄道</keyword>
    <keyword>河川</keyword>
    <keyword>水涯線</keyword>
    <keyword>海岸線</keyword>
    <keyword>基準点</keyword>
    <keyword>地名</keyword>
    <keyword>公共施設</keyword>
    <keyword>格子点の標高</keyword>
    <keyword>行政界</keyword>
    <keyword>GIS 基盤情報</keyword>
    <keyword>空間データ基盤</keyword>
    <type>005</type>
  </MD_Keywords>
</descriptiveKeywords>
<spatialRepresentationType>001</spatialRepresentationType>
<spatialResolution>
  <equivalentScale>
    <denominator>25000</denominator>

```

```

</equivalentScale>
</spatialResolution>
<language>
  <isoCode>jpn</isoCode>
</language>
<characterSet>023</characterSet>
<topicCategory>003</topicCategory>
<topicCategory>006</topicCategory>
<topicCategory>012</topicCategory>
<topicCategory>013</topicCategory>
<topicCategory>018</topicCategory>
<extent>
  <verticalElement>
    <EX_VerticalExtent>
      <minimumValue>-20</minimumValue>
      <maximumValue>1030</maximumValue>
      <unitOfMeasure>
        <name>meter</name>
      </unitOfMeasure>
      <verticalDatum>
        <SC_VerticalDatum>
          <datumID>
            <authority>
              <title>測量法施行令第 432 号</title>
              <date>
                <date>2001-12-28</date>
                <dateType>003</dateType>
              </date>
            </authority>
            <code>TP</code>
          </datumID>
        </SC_VerticalDatum>
      </verticalDatum>
    </EX_VerticalExtent>
  </verticalElement>
  <temporalElement>
    <EX_TemporalExtent>
      <extent>
        <beginEnd>
          <begin>2001-10-01</begin>
          <end>2001-10-01</end>
        </beginEnd>
      </extent>
    </EX_TemporalExtent>
  </temporalElement>
  <geographicElement>
    <EX_GeographicBoundingBox>
      <extentReferenceSystem>
        <authority>
          <title>地理情報標準第 2 版 (SGI2.0) - メタデータの附属書 M</title>
          <date>
            <date>2002-03-29</date>
            <dateType>003</dateType>
          </date>
        </authority>
      </extentReferenceSystem>
    </EX_GeographicBoundingBox>
  </geographicElement>
</extent>

```

```

    </authority>
    <code>JGD2000 / (B, L)</code>
  </extentReferenceSystem>
  <westBoundLongitude>139.411531</westBoundLongitude>
  <eastBoundLongitude>140.510599</eastBoundLongitude>
  <southBoundLatitude>35.442072</southBoundLatitude>
  <northBoundLatitude>36.564318</northBoundLatitude>
</EX_GeographicBoundingBox>
<EX_GeographicDescription>
  <geographicIdentifier>
    <code>茨城県全域</code>
  </geographicIdentifier>
</EX_GeographicDescription>
</geographicElement>
</extent>
</MD_DataIdentification>
</identificationInfo>
<dataQualityInfo>
  <DQ_DataQuality>
    <scope>
      <level>006</level>
    <extent>
      <verticalElement>
        <EX_VerticalExtent>
          <minimumValue>-20</minimumValue>
          <maximumValue>1030</maximumValue>
          <unitOfMeasure>
            <name>meter</name>
          </unitOfMeasure>
          <verticalDatum>
            <SC_VerticalDatum>
              <datumID>
                <authority>
                  <title>地理情報標準第 2版 (ISGI2.0) - メタデータの附属書 M</title>
                  <date>
                    <date>2002-03-29</date>
                    <dateType>003</dateType>
                  </date>
                </authority>
                <code>TP</code>
              </datumID>
            </SC_VerticalDatum>
          </verticalDatum>
        </EX_VerticalExtent>
      </verticalElement>
      <temporalElement>
        <EX_TemporalExtent>
          <extent>
            <beginEnd>
              <begin>2001-10-01</begin>
              <end>2001-10-01</end>
            </beginEnd>
          </extent>
        </EX_TemporalExtent>
      </temporalElement>
    </extent>
  </DQ_DataQuality>
</dataQualityInfo>
</MD_Metadata>

```



```

    </temporalElement>
  </extent>
  <levelDescription>数値地図 25000 (空間データ基盤)茨城県全域</levelDescription>
</scope>
<lineage>
  <LI_Lineage>
    <statement>基準点は、国土地理院の基準点成果表より作成したデータ。格子点の標高は、国土地理院発行の数値地図 50mメッシュ (標高)を使用して作成した2秒メッシュのデータ。その他の項目は、国土地理院の 1/25000 地形図原データから取り出したデータ。なお、収録データの座標値は、経緯度を秒単位で小数点以下 4桁で表されている。</statement>
  </LI_Lineage>
</lineage>
<report>
  <DQ_Element>
    <typeOfQualityEvaluation>004</typeOfQualityEvaluation>
    <result>
      <DQ_ConformanceResult>
        <specification>
          <title>平成 14 年 2 万 5 千分 1 地形図図式</title>
          <date>
            <date>2002-03-28</date>
            <dateType>003</dateType>
          </date>
        </specification>
        <explanation>座標値または属性値が定められた領域に入っているか検査を行い、誤りがあった場合は、訂正する。</explanation>
        <pass>1</pass>
      </DQ_ConformanceResult>
      <DQ_QuantitativeResult>
        <valueUnit>
          <name>count</name>
        </valueUnit>
        <errorStatistic>データの誤り件数</errorStatistic>
        <value>
          <otherValue>0</otherValue>
        </value>
      </DQ_QuantitativeResult>
    </result>
  </DQ_Element>
  <DQ_Element>
    <typeOfQualityEvaluation>005</typeOfQualityEvaluation>
    <result>
      <DQ_ConformanceResult>
        <specification>
          <title>平成 14 年 2 万 5 千分 1 地形図図式</title>
          <date>
            <date>2002-03-28</date>
            <dateType>003</dateType>
          </date>
        </specification>
        <explanation>XMLパーサーを用いて、定められたフォーマットに記述されているか検査を行い、誤りがあった場合は訂正する。</explanation>
        <pass>1</pass>
      </DQ_ConformanceResult>

```

```

<DQ_QuantitativeResult>
  <valueUnit>
    <name>count</name>
  </valueUnit>
  <errorStatistic>データの誤り件数</errorStatistic>
  <value>
    <otherValue>0</otherValue>
  </value>
</DQ_QuantitativeResult>
</result>
</DQ_Element>
<DQ_Element>
  <typeOfQualityEvaluation>007</typeOfQualityEvaluation>
  <result>
    <DQ_ConformanceResult>
      <specification>
        <title>平成 14 年 2 万 5 千分 1 地形図図式</title>
        <date>
          <date>2002-03-28</date>
          <dateType>003</dateType>
        </date>
      </specification>
      <explanation>平面位置の精度 17.5m 以内、標高の精度 7m 以内を確保するため、作業規程に基づき検査し、誤りが発見された場合には、訂正する</explanation>
      <pass>1</pass>
    </DQ_ConformanceResult>
    <DQ_QuantitativeResult>
      <valueUnit>
        <name>count</name>
      </valueUnit>
      <errorStatistic>データの誤り件数</errorStatistic>
      <value>
        <otherValue>0</otherValue>
      </value>
    </DQ_QuantitativeResult>
  </result>
</DQ_Element>
<DQ_Element>
  <typeOfQualityEvaluation>010</typeOfQualityEvaluation>
  <result>
    <DQ_ConformanceResult>
      <specification>
        <title>平成 14 年 2 万 5 千分 1 地形図図式</title>
        <date>
          <date>2002-03-28</date>
          <dateType>003</dateType>
        </date>
      </specification>
      <explanation>入力されている日付に誤りがないか検査し、誤りが発見された場合には、訂正する。</explanation>
      <pass>1</pass>
    </DQ_ConformanceResult>
    <DQ_QuantitativeResult>
      <valueUnit>

```

```

        <name>count</name>
        </valueUnit>
        <errorStatistic>データの誤り件数</errorStatistic>
        <value>
            <otherValue>0</otherValue>
        </value>
    </DQ_QuantitativeResult>
</result>
</DQ_Element>
<DQ_Element>
    <typeOfQualityEvaluation>013</typeOfQualityEvaluation>
    <result>
        <DQ_ConformanceResult>
            <specification>
                <title>平成 14 年 2 万 5 千分 1 地形図図式</title>
                <date>
                    <date>2002-03-28</date>
                    <dateType>003</dateType>
                </date>
            </specification>
            <explanation>各地物が、図式に基づき正しく分類 (記号化) されているかを空中写真、
資料等を用いて目視検査し、誤りが発見された場合には、訂正する。</explanation>
            <pass>1</pass>
        </DQ_ConformanceResult>
        <DQ_QuantitativeResult>
            <valueUnit>
                <name>count</name>
            </valueUnit>
            <errorStatistic>データの誤り件数</errorStatistic>
            <value>
                <otherValue>0</otherValue>
            </value>
        </DQ_QuantitativeResult>
    </result>
</DQ_Element>
</report>
</DQ_DataQuality>
</dataQualityInfo>
<distributionInfo>
    <MD_Distribution>
        <distributionFormat>
            <MD_Format>
                <name>XML 形式</name>
                <version>1.0</version>
            </MD_Format>
        </distributionFormat>
        <transferOptions>
            <MD_DigitalTransferOptions>
                <offLine>
                    <name>001</name>
                </offLine>
            </MD_DigitalTransferOptions>
        </transferOptions>
    </MD_Distribution>

```

```
</distributionInfo>
<fileIdentifier>nm25000ibaraki_jmp20.xml</fileIdentifier>
<language>
  <isoCode>jpn</isoCode>
</language>
<characterSet>004</characterSet>
<parentIdentifier>nm25000series</parentIdentifier>
<contact>
  <organisationName>国土交通省国土地理院</organisationName>
  <contactInfo>
    <address>
      <country>jpn</country>
    </address>
  </contactInfo>
  <role>007</role>
</contact>
<dateStamp>2003-11-07</dateStamp>
<metadataStandardName>JMP</metadataStandardName>
<metadataStandardVersion>2.0</metadataStandardVersion>
</MD_Metadata>
```